

令和5年度

# 事業報告書

社会福祉法人 貴 峯

## 目 次

	頁
はじめに .....	1
法人・施設運営の指針 .....	2
事業概要 .....	3
1 福祉事業 .....	3
2 授産事業 .....	10
3 地域貢献事業 .....	14
4 役員会等の状況 .....	15
5 職員の配置状況 .....	18
6 新型コロナウイルス感染症防止対策等の取組状況 .....	19
7 日中活動（余暇活動）・行事等支援・ボランティア活動状況 .....	21
8 防災対策等の取組状況 .....	27
9 支援会議の開催状況 .....	28
10 健康管理状況 .....	29
11 栄養管理状況 .....	33
12 リスクマネジメントの取組状況 .....	37
13 メンタル相談利用状況 .....	38
14 職員研修実施状況 .....	39
15 苦情及び意見・要望の状況 .....	43
自治共済会の活動 .....	47
法人組織図 .....	48
法人の沿革 .....	49

<資料編> .....	5 1
令和5年度利用者状況総括表 .....	5 2
貴峯荘利用者状況 .....	5 3
貴峯荘生活介護（通所）利用者状況 .....	5 4
貴峯荘ワークピア（就労継続支援事業B型）利用者状況 .....	5 5
貴峯荘湘南の丘利用者状況 .....	5 6
貴峯荘地域支援センター（生活介護事業）利用者状況 .....	5 7
第一貴峯館・第二貴峯館（指定共同生活援助事業所）利用者状況 .....	5 8
貴峯荘第2ワークピア（就労継続支援事業A型・B型）利用者状況 .....	5 9
社会福祉法人 貴 峯 第四次中期行動計画 .....	6 0

## は じ め に

当法人は、昭和33年の創立以来、60年以上にわたり授産施設として、その運営一筋に歩んでまいりました。その間、福祉制度の変革や多様化するニーズに対応するため、身体障害者療護施設を開設するとともに、短期入所事業、生活介護事業、共同生活援助事業（グループホーム）など「身体障害者の総合福祉施設」としての組織・体制整備に取り組んできました。

令和5年度は令和4年度に引き続き、「法人内に新型コロナウイルス感染症を持ち込まない」というスローガンのもとに、新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組み、日々の検温、手指消毒（手洗い）の励行、外出・外泊時の感染防止対策の呼びかけの継続、家族等の面会制限、定期的な換気、飛沫防止パーテーション設置など、さまざまな対策を講じてきました。

一方で、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が感染法上の分類において「2類相当」から「5類感染症」となったことで、利用者も職員も自主的に感染防止対策に取り組み、感染防止対策を徹底しながらも少しずつコロナ禍以前の生活に戻せるよう努力をしてきました。

日々の感染対策以外にも、コロナ禍以前の生活に戻す取り組み、新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した際には、感染拡大を防ぐために全力で感染防止対策に取り組み、常に状況に合わせて臨機応変に行動する1年間となりました。

令和5年度は、法人創立65周年という節目の年であることから、「創立65周年記念日帰り旅行」と称し、利用者の高齢化と障害の重度化を勘案して移動距離や外出先の環境・設備等熟考したうえで、新江ノ島水族館や横浜・八景島シーパラダイス等にグループに分かれて外出し、利用者とともにお祝いしました。

創立65周年記念夏まつりや創立65周年記念クリスマス・忘年会では、3年ぶりに外部から出演者を招き、貴峯荘・貴峯荘湘南の丘合同で開催することができました。

貴峯荘湘南の丘創立並びに貴峯荘大規模改修工事施工から19年経過し、機器等の老朽化並びに手摺等の塩害による腐食等が著しいことから、約2億2千万円を投じて両施設の大規模改修工事を実施しました。また、それに併行して平塚市脱炭素設備投資促進補助金により、利用者居室の空調設備のすべての更新取付工事を実施したことで、外観、設備面を一新することができました。

## 法人経営・施設運営の指針

### 使 命

- ・ 利用者の働く場を確保するとともに健康で安心のできる定住拠点を築きます

### 基本理念

- ・ 自主 ・ 自立 ・ 安心 ・ 連携

### 長期目標

- ・ 生産体制を整備し、就労支援により利用者の働きがい、生きがいの向上に努めます
- ・ 日中活動の充実により、利用者満足の達成に努めます
- ・ 職員の人材育成により、サービスの質の向上に努めます
- ・ 職員が継続して勤務することができるよう介護負担の軽減や業務の効率化の環境整備に努めます
- ・ 近隣市民との連携の絆を築くとともに、ボランティアエネルギーに支えられる施設をめざします

### 職員・5つの信条

- ・ 支援の個別化
- ・ 安心の提供
- ・ 人権の擁護
- ・ 自己研鑽
- ・ 地域社会との連携

### 法人経営の基本方針

- ・ 部門間連携の緊密化と相互協力体制の強化をとおして、統制のとれた一体的な組織運営に努めます。
- ・ 社会福祉関係法令等を遵守し、職員に浸透、徹底することによって、利用者並びに地域社会からの信頼に応えていきます。
- ・ 利用者、職員等に対し、経営内容に係る情報の開示に努め、経営の透明化、信頼性の確保に努めます。
- ・ 災害に強く安心のできる防災体制を確立するとともに、権利擁護、個人情報保護等、今日的なテーマへの対応に努めます。

### 施設運営の基本方針

- ・ 利用者の権利を守り、利用者から信頼され、利用者が安心して働き、生きがいをもって生活できる施設を目指します。
- ・ より質の高いサービスを提供するため、職員の能力開発、研修を積み重ねることによって、専門性の向上に努めます。
- ・ 就労分野に係って、高い品質を維持し、市場競争を生き抜くため必要な設備投資、新技術システムの導入等ハード、ソフト両面にわたって基盤整備に努めることとします。
- ・ 地域社会との連携を強め、地域における障害者福祉の拠点施設としての責任、役割を果たします。

## 事業概要

### 1 福祉事業

令和5年度は、令和4年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症を持ち込まないというスローガンのもとに、新型コロナウイルス感染症防止対策による日々の検温、手指消毒(手洗い)、外出自粛要請や家族との面会制限などを徹底しましたが、集団感染が発生し、利用者には更に感染拡大防止対策として個室隔離・フロア閉鎖などの制限のある生活を願う期間がありました。

こうした制限のある生活をする利用者のストレスを少しでも緩和し、潤いのある生活を送ることができるように工夫した支援を行ってきました。8月の行事は、コロナ禍により令和2年から令和4年度まで「貴峯荘えんにち」として開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症が感染法上で「2類相当」から「5類感染症」になったことで、「創立65周年記念貴峯荘夏まつり」として地域貢献・地域交流を再開しました。

8月25日には「湘南ひらつか花火大会」を屋上から見て楽しむ観賞会、9月15日には手持ち花火を楽しむ「創立65周年記念貴峯荘花火大会」を実施し、趣の異なる2種類の花火を楽しみました。10月4日から6日の3日間には、利用者が日中活動やサークルなどで制作した作品を展示した作品展を開催し、見学者の評価による優秀作品には表彰状を授与しました。11月には「創立65周年記念カラオケ大会」、12月には「創立65周年記念クリスマス・忘年会」を実施し、コロナ禍での我慢した生活において、利用者が楽しみを感じられるひとときとなるように、また創立65周年記念の年をお祝いしました。

また、令和5年度は、事業継続計画（BCP）の策定に向けて検討を重ね、自然災害時や感染症発生時の想定をしながら、利用者の命を守るためにすべきことは何か考えとともに、これまでの対応の見直しや課題を整理し、事業継続計画（BCP）を策定しました。

令和5年度末における利用者の状況としては、「貴峯荘」の入所利用者の平均年齢は67.1歳、最高齢の方は82歳でした。「貴峯荘湘南の丘」の入所利用者の平均年齢は62.9歳、最高齢の方は83歳という状況でした。また、「貴峯荘」の入所利用者の障害支援区分平均は4.68と前年度の4.53を上回り、「貴峯荘湘南の丘」の入所利用者の障害支援区分平均が5.50と前年度の5.40を上回りました。令和4年度は高齢かつ障害支援区分の高い利用者が数名退所したことにより平均値が下がりましたが、令和5年度は再び「高齢化」及び「障害の重度化」が顕著な状況となりました。

## 【貴峯荘】

利用者一人ひとりの個性を尊重し、自主、自立の継続が図れるように生活における支援、リハビリ訓練等に努めました。

貴峯荘の入所利用者の障害支援区分平均は、令和4年度には4.53、令和5年度は4.68と利用者の障害の重度化が進行しています。5年前には独歩で歩行出来ていた方も転倒や加齢による身体機能の低下により8名の方々に車椅子や歩行器などの補装具が必要となっています。

5月8日に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の分類において、2類相当から5類になったあとも引き続き感染防止対策のため、検温、手指消毒（手洗い）、マスクの着用を促しました。しかし、3月の初めに5名の感染者が発生しましたが令和4年度の教訓を活かし、即座に個室隔離を行うことで最小限の拡大に留め、また重症化することもなく終息することが出来ました。

令和5年度は法人創立65周年を迎え、「創立65周年記念日帰り旅行」と称して10月に2日間に分けて、金沢八景シーパラダイスに出掛け、水族館やレストランでの食事、お土産選びを楽しみました。

令和4年度に引き続き、作業が休みとなる週末の土日や祝日に外出の自粛を要請した代わりに、利用者の意向を確認しながら映画鑑賞会やドライブを兼ねて法人の墓参りに行くなどの余暇活動を実施し、少しでも気分転換ができるように支援しました。また買物代行を月2回のほか、新たに利用者とは月1回近隣のドラックストアや、衣類が買いたいという希望を受けファッションセンターしまむらへの買い物同行を行う事で、安全に楽しく買い物できるよう支援し、高齢化・障害の重度化への対応に努めました。

貴峯荘利用状況 施設入所（定員40名）

（単位：名）

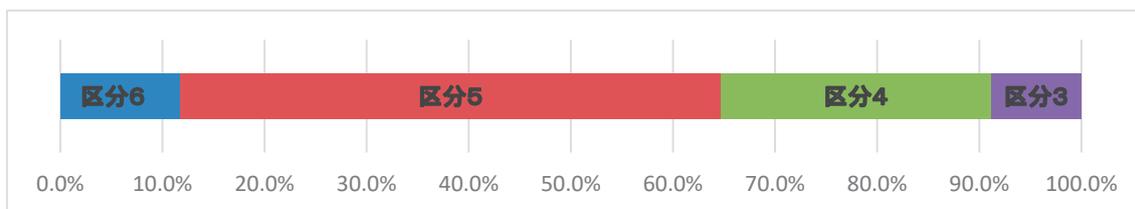
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	408
延利用者数	1,020	1,054	1,027	1,054	1,054	1,020	1,023	1,020	1,025	1,012	964	1,052	12,325
異動状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

障害支援区分

令和6年3月31日現在

障害支援区分	人 数	比率 (%)
区 分 6	4	11.8
区 分 5	18	52.9
区 分 4	9	26.5
区 分 3	3	8.8
区 分 2	0	0
区 分 1	0	0
合 計	34	100.0

障害支援区分平均	4.68
----------	------



貴峯荘利用状況 生活介護（定員40名）

（単位：名）

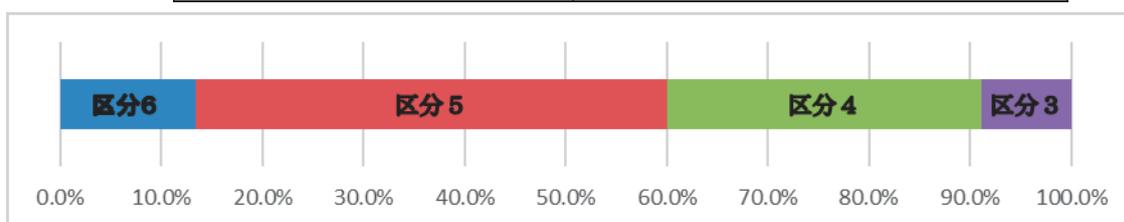
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	540
延利用者数	770	821	825	844	828	777	799	748	802	794	680	782	9,470
異動状況	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

障害支援区分

令和6年3月31日現在

障害支援区分	人数	比率 (%)
区分 6	6	13.5
区分 5	21	46.7
区分 4	14	31.1
区分 3	4	8.9
区分 2	0	0
区分 1	0	0
合計	45	100.0

障害支援区分平均	4.64
----------	------



貴峯荘利用状況 短期入所（定員4名）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	2	2	1	2	3	1	2	2	2	2	2	2	23名
延利用日数	33	15	5	27	26	5	13	40	37	33	32	21	287日
1日平均利用者数	1.1	0.5	0.1	0.9	0.8	0.1	0.4	0.1	1.3	1.0	1.1	0.7	8.1

## 【貴峯荘湘南の丘】

令和5年度も令和4年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止対策として、毎日の検温、手指消毒やうがい、マスクの着用などの感染防止対策を継続しました。また、貴峯荘や貴峯荘ワークピアでの感染が発生した場合には、職員や利用者の移動を最小限に、時間をずらすなどの工夫をして、新型コロナウイルスを持ち込まないよう対応をしました。

令和5年度は、法人創立65周年の節目として「創立65周年記念日帰り旅行」と称し、江ノ島水族館やジ・アウトレット平塚へ外出しました。職員も利用者も楽しいひと時を過ごしました。

施設行事は、令和5年度から新型コロナウイルス感染症の感染症法での位置付けが「2類相当」から「5類感染症」になり、8月の「創立65周年記念貴峯荘夏まつり」は3年ぶりに外部のボランティアや地域の方々の協力のもと開催し、6月12日の「創立65周年記念バイキング」や12月の「創立65周年記念貴峯荘クリスマス・忘年会」は貴峯荘と湘南の丘合同で開催することができました。

日中活動の充実化への取り組みについては、湘南ひらつか七夕まつりや社会福祉展の見学外出のほか、作品展を開催しました。

貴峯荘湘南の丘利用状況 施設入所・生活介護（定員52名） (単位：名)

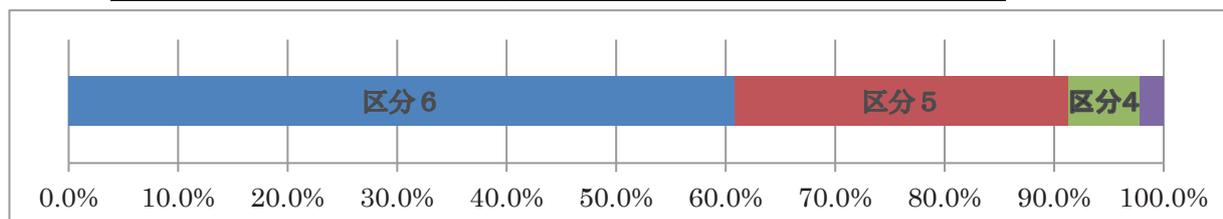
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	47	47	47	47	46	46	47	46	46	46	46	46	557
延利用者数	1,328	1,411	1,386	1,376	1,318	1,258	1,357	1,325	1,421	1,394	1,272	1,397	16,769
異動状況	0	0	0	0	△1	0	1	△1	0	0	0	0	1 △2

障害支援区分

令和6年3月31日現在

障害支援区分	人 数	比率 (%)
区 分 6	28	60.9
区 分 5	14	30.4
区 分 4	3	6.5
区 分 3	1	2.2
区 分 2	0	0
区 分 1	0	0
合 計	46	100.0

障害支援区分平均	5.50
----------	------



貴峯荘湘南の丘利用状況 短期入所 (定員5名)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	0	1	1	1	1	0	2	1	1	0	2	0	10
延利用日数	0	3	11	3	2	0	6	2	2	0	4	0	33
1日平均利用者数	0.0	0.1	0.4	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.12

【貴峯荘地域支援センター(生活介護)】

換気、ソーシャルディスタンス、送迎の乗車時に検温・手指消毒を行うなどの新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しながら、入浴支援のほか創作活動、カラオケ、卓上ゲーム等の日中活動を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染及び濃厚接触者による欠席、体調不良等による欠席などがありましたが、延利用者数は前年度より116名増加しました。

貴峯荘地域支援センター利用状況 生活介護 (定員20名) (単位:名)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	182
延利用者数	122	124	135	112	120	120	116	112	122	105	114	111	1413
1日平均利用者数	6.1	5.9	6.1	5.6	5.5	6.0	5.5	5.6	5.8	5.5	6.0	5.6	5.8

【相談支援事業所】

相談支援事業所は、主にサービス等利用計画案の作成、モニタリング報告書(サービスの継続)の作成を行っており、各市町村の障害福祉主管課、福祉関係機関、医療機関、地域生活支援事業対応のサービス事業所、相談事業所等と連携を図りながら計画案を作成しました。

利用者、家族の相談に応じ、利用者の意向を尊重しつつ、課題整理、利用調整等の支援をするとともに、サービス等利用計画の作成等総合的な相談支援を行いました。また、在宅で生活している地域の方々に地域生活支援サービスの導入、サービス利用の継続等の相談支援を行いました。

【利用者計画案等の作成状況】

貴峯荘地域支援センター (単位:件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用計画案作成	10	2	6	6	9	8	8	4	4	6	3	15	81
モニタリング	30	21	18	19	20	27	32	17	21	19	17	30	271
合 計	40	23	24	25	29	35	40	21	25	25	20	45	352

貴峯荘第2ワークピア

(単位：件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用計画案作成	1	0	1	0	0	1	1	0	1	1	2	2	10
モニタリング	2	3	5	3	2	6	1	1	2	1	2	3	31
合 計	3	3	6	3	2	7	2	1	3	2	4	5	41

【相談・見学者状況】

(単位：名)

施設名・事業所名	相談者数	見学者数
貴峯荘	12	3
貴峯荘短期入所	12	3
貴峯荘ワークピア	15	7
貴峯荘湘南の丘	20	5
貴峯荘湘南の丘短期入所	20	5
貴峯荘地域支援センター	7	2
第一貴峯館	8	1
貴峯荘第2ワークピア	20	15
合 計	114	41

【指定共同生活援助事業所（グループホーム）第一貴峯館・第二貴峯館】

グループホームの第一貴峯館・第二貴峯館においても、検温、手指消毒（手洗い）、外出・外泊自粛などの新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しました。しかし、3月初めに第二貴峯館で2名、第一貴峯館で2名の入居者の感染が発生し、個室隔離を行うなど感染拡大防止対策に尽力しました。こうした対策を行うことで、他の入居者への感染拡大を最小限に防ぎ、重篤化することなく終息することができました。

一方で、外出自粛を要請していることから、土日祝日の余暇活動の参加を促すことで充実した生活が送れるよう取り組みました。余暇活動は、定期的に入居者の意見を聞き取りニーズの把握や希望を取り入れる努力をしました。6月には創立65周年記念日帰り旅行として横浜中華街に出かけ、久々の外食や中華街の散策を楽しみました。

第一貴峯館・第二貴峯館 入居状況（定員14名・・・男性7名/女性7名） (単位：名)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居者数	10	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
延べ入居者数	300	303	282	310	310	300	310	300	310	310	290	310	3,635
異動状況	0	△1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△1 1

### 【貴峯荘ワークピア】（就労継続支援B型事業）

貴峯荘ワークピアでは、地域生活する利用者が安心して通所し、作業に参加できるよう支援してきました。令和5年度は令和4年度に引き続き、換気、作業場のパーテーション設置、送迎の乗車時には検温・手指消毒を行うなどの新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しました。

#### 貴峯荘ワークピア 利用状況（定員 20名）

項目	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
参加人数		18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
工賃支払総額		463,200	478,841	827,133	461,388	510,301	456,640	497,015	479,612	812,570	471,524	451,401	825,639	6,735,264
述参加日数		296	306	329	310	327	305	330	306	312	301	294	310	3,726
延参加時間		1,748	1,615	1,778	1,650	1,740	1,622	1,771	1,637	1,663	1,605	1,547	1,620	19,996
稼働日数		20	23	22	20	23	20	22	22	21	22	21	21	257
平均工賃 (時給)		265	297	465	280	293	281	281	293	489	294	292	510	337
1日平均 利用人数		16.3	13.3	15.0	15.5	14.2	15.3	15.0	13.9	14.9	13.7	14.0	14.6	14.6

#### 貴峯荘ワークピア（就労継続支援B型）目標工賃の達成状況（単位：円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
平均工賃 実績	月 額	30,970	31,197	42,761	

### 【貴峯荘第2ワークピア】（就労継続支援A型事業・B型事業）

貴峯荘第2ワークピアでは、一般に就労することが難しい障害のある方々に就労の場を提供するとともに、クリーニング作業の技術の習得等に必要な訓練・指導を行いました。令和5年度は令和4年度に引き続き、換気、昼食時のソーシャルディスタンス、送迎の乗車時には手指消毒を継続して行うなどの新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しました。また、施設利用や作業を通じて、社会人として自立できるよう支援を行いました。

貴峯荘第2ワークピア 利用状況（A型 定員10名）

項目 \ 利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
実参加人数	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	67
延参加日数	124	128	128	127	128	118	109	107	105	104	88	104	1,370
延参加時間	741	768	768	762	765	705	654	641	630	624	514	624	8,196
稼働日数	20	23	22	21	23	21	22	21	21	21	21	21	257
1日平均 利用人数	5.0	4.7	4.9	4.9	4.7	4.5	4.2	4.3	4.0	4.0	3.5	4.0	4.4

※就労継続支援A型の利用者については、非常勤職員として雇用し、最低賃金法を適用しています。

貴峯荘第2ワークピア 利用状況（B型 定員10名）

項目 \ 利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
実参加人数	14	14	14	14	14	14	14	15	15	15	15	15	173
工賃支払総額	245,530	259,635	464,579	238,920	260,410	313,827	312,645	346,205	548,418	321,903	295,792	525,330	4,133,194
延参加日数	238	254	246	230	241	242	264	260	251	234	244	260	2,964
延参加時間	1,393	1,487	1,446	1,320	1,378	1,385	1,540	1,510	1,425	1,371	1,391	1,538	17,184
稼働日数	20	23	22	21	23	21	22	21	21	21	21	21	257
平均工賃 (時給)	176	175	321	181	189	227	203	229	385	235	213	342	240
1日平均 利用人数	9.5	9.4	9.5	8.8	8.9	9.3	10.2	10.4	9.7	9	9.8	10	9.5

貴峯荘第2ワークピア 目標工賃の達成状況（就労継続支援B型）（単位：円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
平均工賃 実績	月 額	27,565	26,875	29,873	

## 2 授産事業

貴峯荘ワークピア（就労継続支援B型）並びに、貴峯荘第2ワークピア（就労継続支援A型及び就労継続支援B型）にて、就労支援事業を実施しました。また、貴峯荘と貴峯荘湘南の丘の日中活動の一環としても生産活動を実施しました。

作業はクリーニング、介護用品販売、印刷、縫製、組立軽作業、のほか、施設内の清掃・消毒除菌作業があり、それぞれの利用者の特性に応じた作業目標を定め、その目標に沿った

作業指導・支援に努めました。

また、引き続き「障害者優先調達推進法」の周知と受注拡大を図りつつ、営業活動に取り組みました。

#### 〈クリーニング科〉

病院や施設との年間契約により利用者の作業と売り上げを維持しつつ、新たなニーズの掘り起こしによる受注や更なる顧客の確保に努めました。

また、第三者機関による年4回の細菌検査を実施することで、品質の維持・向上にも努めました。

#### 〈介護用品販売〉

物価上昇が続き、新型コロナウイルス感染症も完全には収束しないなかで、顧客に対して新たな物品の提案などを行いつつ、「販売促進用パンフレット」の作成をしました。

#### 〈印刷科〉

「障害者優先調達推進法」の基に神奈川セルフセンター共同窓口との連携により、主に神奈川県や県立学校の顧客開拓に努めました。製版部門では既存の専門レイアウトソフトにプログラムを組み込み、名刺の制作や面付作業を自動化することで受注可能な件数を増やしました。

また、製版・デザイン部門では顧客からの急な修正等に迅速に対応するため、ファイルサーバを設置しました。

さらに、印刷・製本においては作業内容に合わせて毎日席替えをすることで利用者の作業の効率化を図ることが出来ました。

#### 〈縫製班〉

定期受注品に加え、新規受注先からの刺繍作業・ポーチ等作成を行いました。

本年度はコロナ禍以前のイベントが復活したことで、製品を出展販売するとともに、平塚市役所へはイベント時配布製品を納品することができました。

また、新たな取り組みとして、利用者の描いたイラストを生地にし、そこから制作した製品を「きぼっと」のブランドとして、授産部として立ち上げ、販売することで貴峯荘のPRに努めました。

作業においては、利用者同士がフォローするなど、班全体で取り組みました。

〈組立軽作業班〉

・組立作業

神奈川セルフセンターの共同受注窓口を通して受注した「スティックのり」の封入作業を継続するとともに、新たに地元企業よりコミック本のリユース作業を受注することができました。また、クリーニング科より「タオルのたたみ」の作業を受注することにしました。

・クリーンナップ

貴峯荘の居住棟や作業棟共用エリアの環境維持として清掃作業を続けるとともに、継続して新型コロナウイルス感染症防止対策として、日々、消毒作業を行いました。

〈貴峯荘第2ワークピア〉

クリーニングの受注状況については、「神奈川県総合リハビリテーション事業団」をはじめ、県立の検査機関や民間病院等から発注をいただきました。また、B型利用者の軽作業は、ボールペンのクリップの組み立てのほか、ネジの検品、コミック本の加工作業、電子部品の組み立て作業を実施しました。

さらに、「施設外就労事業所」として、「神奈川県立子ども自立生活支援センター（通称きらり）」に利用者・職員を派遣しクリーニングを実施することにより、就労の場の確保を図ることができました。

障害者優先調達推進法に関する受注の状況

部署名	件数	金額（円）	主な取引先・活動内容
クリーニング科	33	3,407,821	平塚市、公立施設・学校、県水道営業所、平塚市民病院、他
印刷科	115	25,848,538	神奈川県庁、県出先機関 公立学校、他
縫製班	5	2,551,017	平塚市役所大磯町、神奈川県庁、 日本セルフセンター
組立・軽作業班	1	640,293	神奈川セルフセンター
貴峯荘 第2ワークピア	3	9,174,200	県立施設
合計	157	41,621,869	

事業所別 作業参加状況（B型・生活介護）

事業所	在籍者数	作業項目				平均工賃	
		クリーニング	印刷	縫製	組立・軽作業	月額	時給
貴 峯 荘	34	15	3	5	11	22,982	224
貴峯荘生活介護 （通所）	11	7	2	2	0	33,124	290
ワークピア	18	5	7	3	3	38,744	337
湘南の丘	9	1	2	0	6	2,434	90
小 計	72	28	14	10	20		
貴峯荘 第2ワークピア	15	15				29,873	240
合 計	87	43	14	10	20		

就労継続支援A型事業所 利用状況

事業所	在籍者数	作業項目				平均賃金	
		クリーニング	印刷	縫製	組立・軽作業	月額	時給
貴峯荘 第2ワークピア	5	5				153,953	1,205

※就労継続支援A型の利用者については、非常勤職員として雇用し最低賃金を適用しております。

作業科目別 売上の状況

部署名	売上額（円）	前年 比率	年間 稼働日	主 な 取 引 先 ・ 活 動 内 容
クリーニング科	25,046,674	100%	257日	県内病院・施設・学校関係・県出先機関 他
クリーニング科 （介護用品）	20,109,864	87%	244日	県内障害者・高齢者施設 他
印刷科	49,067,604	86%	246日	学校・神奈川県庁・市町村関係 他
縫 製 班	5,582,796	121%	245日	県内障害者・高齢者施設・一般企業 ひらつか障がい者福祉ショップ・展示会参加
組 立 ・ 軽 作 業 班	2,162,730	93%	244日	スティックのり封入、タオルたたみ、 施設作業（清掃）
小 計	101,969,668	91%		
貴 峯 荘 第 2 ワークピア	57,170,914	99%	257日	神奈川県総合リハビリテーション事業団 子ども自立生活支援センター他
合 計	159,140,582	93%		

### 3 地域貢献事業

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が感染法上の分類が2類相当から5類感染症に変更になったことを受け、地域貢献事業を再開しました。

#### (1) 生活困窮者就労訓練事業

この事業は、生活困窮者自立支援法（平成25年法律第105号）に基づき、社会福祉法人として求められている「地域における公益的な取り組み」の一環として、平成29年3月に神奈川県から認定を受け当法人の就労継続支援B型の2施設（貴峯荘ワークピア、貴峯荘第2ワークピア）で平成29年4月に開始しました。

一般就労が困難な方に対して就労の機会（就労体験・就労訓練）を提供するとともに、当法人が長年取り組んできた障害者の就労支援のノウハウや経験を活かし、自立に向けた取り組みをしてきました。

令和5年度は、見学者1名の受け入れと1名の相談を行いました。1名の見学者は、利用には至りませんでした。相談者については市外のケースであったため関係機関に結びました。平塚市内の生活困窮者自立支援計画の進捗状況の確認並びに地域との連携を図ることを目的として行われた懇親会に定期的に参加しました。今後も相談体制を整備し、地域との連携を強化していきます。

#### (2) その他

例年、地域の多くの方が来所する貴峯荘夏まつりは、3年ぶりに地域の方々を招き、開催することができました。フランクフルトや焼きそば等の販売のほか神奈川県立平塚農商高等学校の生産物等を販売しました。また、ゲームコーナーでは沢山の地域の子どもがゲームに挑戦し、景品を手にして喜んでいる姿が印象的でした。

## 4 役員会等の状況

令和5年度の評議員会・理事会等については、次のとおり開催しました。

### (1) 評議員会

回数	開催日	議案等	会場
第1回 (第100回)	令和5年 6月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度事業報告書について</li> <li>・ 令和4年度決算報告書について</li> <li>・ 理事・監事の候補者選任について</li> <li>・ 貴峯荘湘南の丘並びに貴峯荘居住棟の大規模改修工事の施工について</li> <li>・ 貴峯荘湘南の丘並びに貴峯荘居住棟の大規模改修工事に伴う借入金について</li> <li>・ 令和5年度資金収支補正予算(第一次)について</li> <li>・ 監事の監査結果について(参考)</li> <li>・ 社会福祉充実残額の算定結果について(参考)</li> <li>・ 神奈川県 の 指導監査・実地指導の結果について(参考)</li> </ul>	サンライフガーデン
第2回 (第101回)	令和5年 12月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴峯荘湘南の丘並びに貴峯荘居住棟の大規模改修工事に伴う借入金の変更について</li> <li>・ 貴峯荘湘南の丘並びに貴峯荘居室等エアコン取替工事について</li> <li>・ 第一貴峯荘館太陽光発電用蓄電池設置工事について</li> <li>・ 送迎車両の購入並びに寄付金の受入について</li> <li>・ 令和5年度資金収支補正予算(第二次)について</li> <li>・ 貴峯荘第2ワークピアパワーハラスメントの概要について(参考)</li> <li>・ 理事長の職務執行状況について(参考)</li> <li>・ 神奈川県における法人指導監査の口頭指摘並びに助言に対する改善について(参考)</li> <li>・ 定款細則の一部改正について(参考)</li> </ul>	貴峯荘湘南の丘
第3回 (第102回)	令和6年 3月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度資金収支補正予算(第三次)について</li> <li>・ 第四次中期行動計画の策定について</li> <li>・ 令和6年度事業計画の策定について</li> <li>・ 事業継続計画の策定について</li> <li>・ 令和6年度資金収支当初予算について</li> <li>・ 理事の選任について</li> <li>・ 理事長の職務執行状況について(参考)</li> <li>・ 利用者死亡事故訴訟について(参考)</li> </ul>	貴峯荘湘南の丘

(2) 理事会

回数	開催日	議案等	会場
第1回 (第271回)	令和5年 6月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業報告書(案)について</li> <li>・令和4年度決算報告書(案)について</li> <li>・理事・監事の候補者選考(案)について</li> <li>・施設長の選任及び解任(案)について</li> <li>・貴峯荘湘南の丘並びに貴峯荘居住棟の大規模改修工事の施工(案)について</li> <li>・貴峯荘湘南の丘並びに貴峯荘居住棟の大規模改修工事に伴う借入金(案)について</li> <li>・積立金使途の変更(案)について</li> <li>・令和5年度資金収支補正予算(第一次)(案)について</li> <li>・諸規程の一部改正(案)について</li> <li>・ハラスメント等の防止等に関する規程(案)について</li> <li>・6月評議員会の開催(案)について</li> <li>・監事監査結果について(報告)</li> <li>・社会福祉充実残額の算定結果について(報告)</li> <li>・神奈川県 の 指導監査・実地指導の結果について(報告)</li> </ul>	貴峯荘湘南の丘
第2回 (第272回)	令和5年 6月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長の選定について</li> <li>・評議員選任・解任委員の選任(案)について</li> </ul>	サンライフガーデン
第3回 (第273回)	令和5年 12月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴峯荘湘南の丘並びに貴峯荘居住棟の大規模改修工事に伴う借入金の変更(案)について</li> <li>・貴峯荘湘南の丘並びに貴峯荘居室等エアコン取替工事(案)について</li> <li>・第一貴峯荘館太陽光発電用蓄電池設置工事(案)について</li> <li>・送迎車両の購入(案)並びに寄付金の受入について</li> <li>・令和5年度資金収支補正予算(第二次)(案)について</li> <li>・貴峯荘第2ワークピアパワーハラスメントの概要について(報告)</li> <li>・理事長の職務執行状況について(報告)</li> <li>・神奈川県における法人指導監査の口頭指摘並びに助言に対する改善について(報告)</li> </ul>	貴峯荘湘南の丘
第4回 (第274回)	令和6年 3月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度資金収支補正予算(第三次)(案)について</li> <li>・第四次中期行動計画の策定(案)について</li> <li>・令和6年度事業計画の策定(案)について</li> <li>・事業継続計画の策定(案)について</li> <li>・令和6年度資金収支当初予算(案)について</li> <li>・施設長の選任及び解任(案)について</li> <li>・理事候補者推薦(案)について</li> <li>・給与規程の一部改正(案)について</li> </ul>	貴峯荘湘南の丘

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3月の評議員会開催(案)について</li> <li>・ 理事長の職務執行状況について (報告)</li> <li>・ 利用者死亡事故訴訟について (報告)</li> </ul>	
--	--	---	--

(3) 評議員選任・解任委員会

開催日	監査事項	会場
なし		

(4) 監事監査

開催日	監査事項	会場
令和5年5月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務監査 (事業報告等の監査)</li> <li>・ 会計監査 (計算関係書類及び財産目録の監査)</li> </ul>	貴峯荘湘南の丘

## 5 職員の配置状況

令和5年度の職員の入職者数は21名、一方の退職者数は16名でした。前年度は退職者数が入職者数を上回っていましたが、令和5年度は入職者数が上回る結果となりました。しかし、職員が不足している状況は変わらず厳しい状況が続いているため、新採用職員の人材育成を続けながらも更なる人材確保が必要です。

各月初日在籍

(単位：名)

区分	貴峯荘		貴峯荘 ワークピア		貴峯荘 湘南の丘		貴峯荘 地域支援センター			第一貴峯館 第二貴峯館		貴峯荘第2ワークピア			合 計 (月 末)		
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	生活介護		相談	常勤	非常勤	常勤	非常勤	非常勤の うちA型 利用者	常勤	非常勤	計
							常勤	非常勤									
4月	16	1	5	2	26	9	3	0	2	3	7	9	9	6	64	28	92
5月	17	1	5	2	28	8	3	0	2	3	7	8	10	6	66	28	94
6月	16	1	5	2	28	8	3	0	2	3	7	7	10	6	64	28	92
7月	16	1	5	2	28	9	3	0	2	3	7	7	9	6	64	28	92
8月	16	1	5	2	27	9	5	0	2	3	6	7	9	6	65	27	92
9月	15	1	5	2	27	11	5	0	2	3	6	7	9	6	64	29	93
10月	16	1	5	2	26	11	4	0	2	3	6	7	10	6	63	30	93
11月	16	1	5	2	27	10	4	0	2	3	6	7	9	5	64	28	92
12月	16	1	5	2	27	10	4	0	2	3	6	7	9	5	64	28	92
1月	16	1	5	2	27	10	4	0	2	3	6	7	8	5	64	27	91
2月	16	1	5	2	27	10	4	0	2	3	6	7	9	5	64	28	92
3月	16	1	5	2	29	9	4	0	2	3	6	7	9	5	66	27	93

## 6 新型コロナウイルス感染症防止対策等の取組状況

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は季節性インフルエンザなどと同様の5類感染症に位置づけられましたが、引き続き法人全体が一丸となり、利用者の命を守るために新型コロナウイルス感染症防止対策に全力を挙げて取り組みました。夏季と年度末に、陽性者が発生しましたが、今までの経験を活かし、迅速な行動を各々の職員が取り、短期間で終息することができました。

### (1) 感染症防止対策の取組

- ① 貴峯荘利用者と貴峯荘湘南の丘利用者の生活環境が可能な限り重ならないように制限を設ける
- ② 施設内の消毒の徹底
- ③ 利用者・職員の体調確認と検温、マスクの着用、手指消毒の再徹底
- ④ 設置可能な場所には、飛沫防止パーテーションを設置
- ⑤ 利用者への外出の自粛要請
- ⑥ 施設内の換気を定時により実施
- ⑦ 家族等への不要不急の面会を控えるように要請
- ⑧ 抗原検査・PCR検査の実施（職員、外泊利用者の帰所時や発熱時）

### (2) 新型コロナワクチン接種の取組

嘱託医と平塚市、伊勢原市と調整を図り、春接種（6回目）及び秋接種（7回目）のワクチンを接種しました。

- |       |              |     |      |     |     |
|-------|--------------|-----|------|-----|-----|
| ● 6回目 | 5月17日～8月23日  | 利用者 | 126名 | ・職員 | 61名 |
| ● 7回目 | 11月15日～1月24日 | 利用者 | 125名 | ・職員 | 51名 |

(3) 衛生用品等の確保に向けた取組、検査の実施について

引き続き、サージカルマスク、N95マスク、ガウン、フェイスシールド、消毒液、プラスチック手袋は不足しないよう適宜確保に努めました。また、抗原検査キットでの偽陰性を疑う場合は、適宜PCR検査を実施しました。

(4) 利用者・職員の感染状況

期 間	利用者陽性者数	職員陽性者数
7月8日～7月16日	9名(湘南の丘やまゆり)	6名
	3名(湘南の丘なでしこ)	1名
		1名(健康管理)
3月1日～3月20日	5名(貴峯荘入所)	1名
	2名(第一貴峯館)	
	2名(第二貴峯館)	

(5) 感染拡大防止対策の取組

- ① 感染利用者は個室隔離・フロア閉鎖
- ② 食事は弁当で提供し、居室に配布(個室での食事支援)
- ③ 当該フロア職員はN95マスク、防護服、フェイスシールド等の着用
- ④ 他部署職員との接触禁止(出退勤についても別ルート)
- ⑤ 出勤前に抗原検査実施
- ⑥ 感染利用者には嘱託医と連携し、症状に応じた服薬等の対応
- ⑦ 貴峯荘湘南の丘では、防護服などの脱衣スペースにパーテーション設置しゾーニング実施

## 7 日中活動（余暇活動）・行事等支援・ボランティア活動状況

令和5年度は、令和4年度に引き続き新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しながらも、利用者の生活が楽しく有意義になるように様々な日中活動・余暇活動・行事等の開催をしました。

3年ぶりの「貴峯荘夏まつり」については、多くの来所者や外部からのボランティアの協力を得て開催することができました。

また、「湘南ひらつか花火大会」を屋上から見て楽しむ観賞会を実施、9月8日には手持ち花火を楽しむ「貴峯荘花火大会」を実施し、趣の異なる2種類の花火を楽しみました。10月4日から6日の3日間には、利用者が日中活動やサークルなどで制作した作品を展示した作品展を開催し、見学者の評価による優秀作品には表彰状を授与しました。12月には、「貴峯荘クリスマス・忘年会」として貴峯荘利用者、貴峯荘湘南の丘利用者が一堂に会して、松花堂弁当やケーキ等のおいしい食事と余興等による楽しい時間を過ごしました。

このほかにもカラオケ大会、餅つき大会などを実施し、コロナ禍での我慢した生活において、ひとときでも利用者が楽しみを感じられるよう工夫しました。

ボランティアの協力により、行事は笑顔があふれる盛大なものになり、日中活動では利用者も職員も新たな学びを得ることができました。

### (1) 施設行事

項目 日付	活動名	参加利用者	ボランティア等 参加状況
5月2日	第3回衣類販売会	希望利用者（通所含む）	販売業者2名
7月5日	七夕飾り飾り付け	希望利用者（通所含む）	
7月7日	七夕見学	入所希望利用者24名	富士見地区社協ボランティア12名 引率職員17名
5月9日	餅つき大会	全利用者	餅つき指導：1名
6月12日	創立65周年記念バイキング	全利用者	
8月10日	創立65周年記念貴峯荘夏まつり	全利用者	余興：76名 利用者対応・販売等：31名
8月24日	平塚市立春日野中学校吹奏楽部演奏会	全利用者	生徒：34名 教員：3名
8月25日	湘南ひらつか花火大会鑑賞会	希望利用者（通所含む）	
9月15日	創立65周年記念貴峯荘花火大会	希望利用者（通所含む）	
10/4日～6日	創立65周年記念作品展	希望利用者（通所含む）	
10月31日	第4回衣類販売会	希望利用者（通所含む）	販売業者2名
11月12日	創立65周年記念カラオケ大会	出場者10名（通所含む） ほか観客として参加	
11月30日	クリスマス飾り飾り付け	希望利用者（通所含む）	
12月1日	クリスマスイルミネーション点灯式	希望利用者（通所含む）	
12月22日	創立65周年記念クリスマス忘年会	全利用者	余興：20名
12月26日	餅つき大会	全利用者	餅つき指導：1名

(2) 創立65周年記念行事

法人創立65周年記念を利用者とともに祝いするため、利用者の要望を取り入れ行き先を決め、日帰り旅行に行きました。

項目 日付	活動名	参加利用者	ボランティア・職員等参加 延人数
6月1日	創立65周年記念日帰り旅行 横浜中華街	第一・第二貴峯館10名	引率職員7名
6月15日 6月19日	創立65周年記念日帰り旅行 新江ノ島水族館	第2ワークピア17名	引率職員5名
10月10日 10月12日	創立65周年記念日帰り旅行 八景島シーパラダイス	貴峯荘入所28名 貴峯荘通所22名	引率職員28名
11月14日 11月28日	創立65周年記念日帰り旅行 新江ノ島水族館	貴峯荘湘南の丘 入所12名	引率職員11名
11月30日 12月5日	創立65周年記念日帰り旅行 ジ・アウトレット湘南平塚	貴峯荘湘南の丘 入所8名	引率職員7名

(3) 貴峯荘（施設入所支援・生活介護）・第一貴峯館・第二貴峯館（共同生活援助）の余暇活動

作業が休みとなる週末の土日祝日に利用者の意向を確認しながら映画鑑賞会や法人の墓参りなどの余暇活動を実施しました。

余暇活動実施状況

項目 月	活動名	実施 回数	延参加利用者数 (名)	参加者 合計 (名)	ボランティア・職員等 参加 延人数 (名)
4月	映画観賞会 ドライブ パステル・工作 墓参り 誕生日会(開所記念)	8	27 9 5 9 11	61	引率職員 2 職員参加 10
5月	外出支援 映画観賞会 ドライブ パステル・工作 買物同行支援	11	10 38 10 18 10	86	引率職員 2 引率職員 4
6月	映画観賞会 買物同行支援	5	26 11	37	引率職員 7
7月	映画観賞会 ドライブ パステル・工作 買物同行支援	8	36 13 11 12	72	引率職員 7

8月	映画観賞会 ドライブ 墓参り 買物同行支援	6	26 11 11 12	60	引率職員 3 引率職員 6
9月	映画観賞会 誕生日会(BBQ) ドライブ 墓参り パステル・工作 買物同行支援	10	46 10 9 9 4 5	83	職員参加 9 引率職員 2 引率職員 5
10月	映画観賞会 ゲーム・体操 パステル・工作 買物同行支援	8	37 7 5 8	57	引率職員 5
11月	映画観賞会 ゲーム・体操 パステル・工作 買物同行支援	9	50 4 6 12	72	引率職員 7
12月	映画観賞会 ゲーム・体操 パステル・工作 買物同行支援	9	28 2 6 19	55	引率職員 12 引率職員 5
1月	初詣外出 映画観賞会 ゲーム・体操 ドライブ 誕生日会(新年会) パステル・工作 買物同行支援	16	9 64 17 9 10 13 12	134	職員参加 11 引率職員 7
2月	映画観賞会 買物同行支援	9	45 21	66	引率職員 12
3月	映画観賞会	2	20	20	
合計		101		803	116

(4) 貴峯荘湘南の丘（施設入所支援・生活介護）の日中活動

部屋にこもりがちな生活から少しでも他利用者や職員とコミュニケーションを図る機会を設け、機能低下を防ぐことを目的にオセロやトランプなどの卓上ゲームやカラオケ、ヨガやボクササイズ等の体操、作品展に出品するための作品作りなどの日中活動を実施しました。陶芸サークルでは、技術支援として2名のボランティアの協力のもと作品作りをしました。

日中活動実施状況

項目 月	活動名	実施 回数	延参加利用者数 (名)	合計 (名)	ボランティア・職員等 参加 延人数 (名)
4月	卓上ゲーム 映画会 カラオケ ポッチャ 創作活動 書道 陶芸サークル	42     (2)	31 52 31 4 52 3 14	187	4

5月	卓上ゲーム 映画会 カラオケ ポッチャ 創作活動 お茶会 陶芸サークル	46     (3)	29 48 29 20 38 8 20	192	6
6月	卓上ゲーム 映画会 カラオケ ポッチャ 創作活動 玉入れ 陶芸サークル	44     (2)	27 67 28 13 39 3 13	190	4
7月	卓上ゲーム 映画会 カラオケ ポッチャ 創作活動 陶芸サークル	22     (1)	14 26 11 4 15 6	76	2
8月	卓上ゲーム 映画会 カラオケや音楽 創作活動 ボール遊び	44    	28 38 39 36 10	151	
9月	卓上ゲーム 映画会 カラオケ等 ポッチャ 創作活動 体操等 ボール遊び等 陶芸サークル	42       (3)	14 35 37 5 38 4 7 16	156	6
10月	卓上ゲーム 映画会 カラオケ等 ポッチャ 創作活動 体操等 ボール遊び等 陶芸サークル	44       (2)	41 41 51 29 23 19 19 11	234	4
11月	卓上ゲーム 映画会 カラオケ等 ポッチャ 創作活動 ボール遊び等 麻雀 陶芸サークル	42       (2)	19 66 47 14 47 9 2 13	217	4
12月	卓上ゲーム 映画会 カラオケ等 創作活動 体操等 麻雀 ボール遊び等	44      	28 57 46 69 5 9 10	224	

1月	卓上ゲーム 映画会 カラオケ等 創作活動 体操等 ボール遊び等 麻雀 陶芸サークル	48      (3)	38 60 44 37 7 11 7 3	207	6
2月	卓上ゲーム 映画会 カラオケ等 ポッチャ 創作活動 体操等 麻雀 陶芸サークル	40      (2)	35 70 49 9 34 5 7 14	223	4
3月	卓上ゲーム 映画会 カラオケ等 ポッチャ 創作活動 体操等 麻雀 陶芸サークル	42      (1)	58 67 22 9 33 11 4 6	210	2
合計		500		2267	42

(5) 貴峯荘第2ワークピア（就労継続支援A型・B型）

利用者間のコミュニケーションの充実を図り、良好な人間関係の構築、社会性を身に付けられるよう、四季に合わせたイベントを開催しました。

項目 月	活動名	実施 日数 (日)	延参加利用者数 (名)	ボランティア・職員等参加 延人数 (名)
6月	創立65周年記念バイキング	1	18	職員参加 8
	創立65周年記念日帰り旅行 新江ノ島水族館	2	17	職員参加 5
10月	秋の夕涼み会	1	16	職員参加 7
12月	第8回忘年会	1	20	職員参加 15
合計		5	71	35

(6) 地域交流

例年、平塚七夕まつりの見学では富士見地区社会福祉協議会ボランティアの協力を得て実施しました。また、市民体育レクリエーション富士見地区大会にも参加しました。

項目 日付	活動名 (場所)	参加利用者	ボランティア等 参加状況
7月7日	七夕見学 (平塚駅周辺)	湘南の丘11名  貴峯荘13名	富士見地区社協ボランティア12名 引率職員7名  引率職員10名
7月8日	市民体育レクリエーション 富士見地区大会 (平塚市立富士見小学校)	貴峯荘7名	引率職員3名
8月24日	春日野中学校 吹奏楽部演奏会 (地域交流スペース)	希望利用者38名	春日野中学校吹奏楽部 生徒・教員等

(7) 令和5年度 御守基金活用状況 (単位：円)

- ・お墓参り (4/9、5/22、8/12、9/18) 花代・線香代等 11,600円
- ・霊園管理料 23,100円

(8) 福祉車両の寄贈

平塚市社会福祉協議会が実施する令和5年度福祉事業用購入費助成金事業により、田中貴金属グループ<sup>イージャ</sup> E E J A株式会社様より、令和6年1月26日に福祉車両の贈呈を受けました。寄贈された車両は、日産キャラバンチェアキャブ(車椅子4台乗車)で、主に貴峯荘湘南の丘での外出行事等で活用しています。



[ 福祉車両贈呈式 (令和6年1月26日) ]

## 8 防災対策等の取組状況

### (1) 取組内容

災害が発生した場合でも、利用者が安心して生活できる環境を確保し、災害防止および有事の際の被害を最小限にするため「総合防災マニュアル」を職員に周知徹底をし、防災意識の向上に努め防災対策の強化を図りました。定期的に防災訓練を行い、地震・火災等が想定される災害の状況に応じて、施設防災設備を活かし、研修・訓練・協議を行いました。

### (2) 防災訓練

日頃から対処できる心構えが必要であることから、令和5年度は火災等を想定した総合訓練を8月31日と11月7日に実施しました。前年度に引き続き11月7日には炊き出しの訓練を行い「炭火で焼いたサンマ」「釜で炊いたご飯」をメニューとし、食器も被災時に使用する「使い捨てのお皿とカップ」「割りばし」を用意するなど疑似体験をしました。

また、地域支援センターにおいては、全利用者が訓練に参加できるように、10月23日～10月27日の5日間にわたり避難訓練を実施しました。グループホームの第一貴峯館・第二貴峯館では2月28日に避難訓練を実施し、第2ワークピアにおいても3月7日に避難訓練と消火訓練などの総合訓練を実施しました。

その他に8月31日に点検業者による訓練用消火器を使用した放射訓練を行い、消火器の操作方法や消火器の能力などの理解を深めました。11月17日には参集経路の把握や危険個所の確認を目的に職員の非常参集訓練を行いました。平塚市は非常に揺れが強い地震の発生が危惧されており、職員が参集する際に公共交通機関が使用できない可能性があるため、徒歩や自転車などで参集しました。2月29日に夜の火災発生を想定し夜間想定防災訓練を実施し、職員数が少ない中でも消火活動や避難方法などの確認を行いました。

### (3) 防災備蓄食料・備蓄品の整備

防災備蓄検討委員会で協議した備蓄食料は、昨年度に5日間250食の調達が完了しました。賞味期限が期限切れにならないよう計画的に備蓄するため、令和5年度は3種類の備蓄食料を更新しました。

### (4) 地域防災（平塚氏救急協力事業所）

AEDを設置し普通救命講習会を受講するなど一定の条件を満たしていることから、平塚市救急協力事業所として平塚市消防署に登録しています。

これは地域でAEDが必要な緊急時などに、救命講習を受けている職員が対応することを目的としています。

## 9 支援会議の開催状況

障害者総合支援法に基づき、障害者の地域生活移行と就労を進め、利用者の自立を基本とした支援を心がけました。

支援会議では、「個別支援計画書」の作成のために、利用者本人のニーズや思いを大切にして、関係職員で検討しながら、支援内容等の評価をしました。そして、それを基に新たな個別支援計画書を、6カ月毎に作成しました。

利用者の高齢化や障害の重度化による機能低下により、医師や理学療法士等との連携を反映したきめ細かな「個別支援計画書」が必要となっています。

支援会議については、利用者個々の状況を把握し、職員が共通理解したうえで、介助や支援に反映させる必要からも重要性が増してきています。

個別支援計画作成数

(単位：件)

区分	貴峯荘		貴峯荘ワ ークピア	第一貴峯 館・第二 貴峯館	貴峯荘 湘南の丘	地域支援 センター 生活介護	貴峯荘 第2ワー クピア
	貴峯荘	生活介護 (通所)					
4月	14	0	1	0	0	7	4
5月	3	5	4	0	0	0	4
6月	5	3	6	0	15	2	4
7月	10	2	4	0	17	0	2
8月	0	0	0	0	14	0	3
9月	2	1	4	10	0	8	4
10月	14	0	0	0	1	7	2
11月	3	5	4	0	0	0	4
12月	5	3	6	0	16	0	4
1月	10	2	4	0	16	0	2
2月	0	0	0	0	14	0	3
3月	2	1	4	10	0	8	8
計	68	22	37	20	93	32	44

## 10 健康管理状況

### (1) 通院状況

令和5年度における利用者の通院状況は、貴峯荘（入所）では、整形外科（28.3%）、内科（18.4%）が多い状況でした。貴峯荘湘南の丘においては、精神科（18.0%）、外科（17.4%）が多い状況でした。

また、年間に通院した延人数は、前年度が816名でしたが、令和5年度は891名でした。

なお、医療機関への受診結果については、主治医の治療内容等を把握して、利用者の健康管理に努めました。

#### (ア) 診療科別通院人数 《延人数》

(単位：名)

所属	科別	内	外	整形	脳	泌	精	皮	歯	リ	耳	婦	形	眼	そ	緊	計
		科	科	外科	神	尿	神	膚	科	ハ	鼻	人	成	科	の	急	
貴峯荘	%	18.4	1.9	28.3	10.1	10.5	12.0	9.4	3.0	1.3	0.6	0.0	0.2	3.2	1.1	0.0	100
	名	86	9	132	47	49	56	44	14	6	3	0	1	15	5	0	467
第一・第二貴峯館	%	13.7	0.0	19.6	15.7	2.0	5.9	13.7	15.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8	3.9	2.0	100
	名	7	0	10	8	1	3	7	8	0	0	0	0	4	2	1	51
貴峯荘 湘南の丘	%	11.3	17.4	6.2	13.9	5.1	18.0	14.7	0.5	1.1	0.0	1.9	0.0	0.5	9.4	0.0	100
	名	42	65	23	52	19	67	55	2	4	0	7	0	2	35	0	373
合計	人	128	74	155	99	68	123	99	16	10	3	7	1	17	40	0	891

#### (イ) 月別通院状況 《延人数》

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貴峯荘	38	39	30	28	30	27	42	39	66	64	33	31	467
第一・第二貴峯館	2	2	1	3	3	4	2	8	12	7	3	4	51
貴峯荘湘南の丘	14	31	42	21	38	26	32	25	57	47	26	14	373
合計	54	72	73	52	71	57	76	72	135	118	62	49	891

### (2) 利用者の健康管理状況

毎週1回（水曜日）嘱託医による診察を実施しました。

#### (ア) 嘱託医（内科）の診察

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貴峯荘	32	33	33	22	26	25	33	45	33	37	30	31	380
第一・第二貴峯館	0	0	0	2	3	3	0	3	1	0	2	0	14
貴峯荘ワークピア	1	1	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	19
貴峯荘湘南の丘	68	63	67	31	56	44	68	66	44	54	68	50	679
合計	101	97	100	55	85	89	101	114	78	91	100	81	1,092

その他、利用者の飲酒について、嘱託医による評価を実施し、内服薬、持病との関係を考慮して、行事等の際の飲酒のアドバイスを受けました。

(イ) 健康診断

全利用者を対象として、9月6日及び28日に99名が健康診断を受けて、22名が再検査を受診しました。検査内容は、血液検査、尿検査、結核予防法に基づく胸部レントゲン検査を実施しました。また、がん検診として、血液検査（腫瘍マーカー「CEA」）を89名の方が受けました。

(ウ) 服薬管理

職員による服薬管理者数 《実人数》 (単位：名)

貴峯荘	第一・第二貴峯館	貴峯荘ワークピア	貴峯荘湘南の丘	貴峯荘地域支援センター	合計
21	4	0	42	7	74

(エ) 処置

①褥瘡・外傷・皮膚湿疹

褥瘡の処置者が5名ほどおり、皮膚症状の治療改善を目指し、軟膏処置を実施しました。転倒、滑落による外傷も多く見られ、適宜、処置を実施しました。

②バルンカテーテル留置の管理

尿道カテーテル留置者3名、膀胱瘻者・カテーテル者4名に対して、尿の流出状況が良好に保たれるように、飲水指導、排尿量のチェックを行い、必要時に膀胱洗浄を実施しました。

③排便管理

利用者の排便状況を把握し、嘱託医に相談、その指示に基づき内服薬・坐薬・浣腸等による排便コントロールを行いました。人工肛門装着者3名に対し、皮膚の疾患等のトラブルが生じないよう対応に努めました。

(オ) 訪問歯科治療

毎週1回（木曜日）、訪問歯科治療を実施しました。

訪問歯科受診者数 《実人数》 (単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貴峯荘	27	20	23	21	21	13	12	12	14	9	14	8	194
第一・第二貴峯館	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
貴峯荘ワークピア	0	1	10	0	0	0	0	0	0	1	1	0	13
貴峯荘湘南の丘	16	6	13	8	25	23	29	33	31	24	37	7	252
合計	43	27	51	30	46	36	41	45	45	34	52	15	465

(カ) 予防注射

インフルエンザ予防接種及び新型コロナウイルスワクチン接種を嘱託医及び協力医療機関において実施しました。インフルエンザ予防接種は10月25日～11月8日に実施し、令和5年度の実施人数は延べ137名でした。新型コロナウイルスワクチン接種は6回目を5月17日～8月23日に実施、7回目を11月15日～1月24日に実施し、令和5年度の実施人数は延べ251名でした。

インフルエンザ予防接種実施人数 《実人数》 (単位：名)

貴峯荘 (入所)	貴峯荘 (通所)	第一・第二 貴峯館	貴峯荘 ワークピア	貴峯荘 湘南の丘	貴峯荘地域 支援センター	第2ワークピア	合計
34	10	1	16	46	7	18	132

新型コロナウイルスワクチン予防接種実施人数 《実人数》 (単位：名)

	貴峯荘 (入所)	貴峯荘 (通所)	第一・第二 貴峯館	貴峯荘 ワークピア	貴峯荘 湘南の丘	貴峯荘地域 支援センター	第2ワークピア	合計
6回目	34	7	2	15	45	7	16	126
7回目	34	9	1	14	46	4	17	125

(キ) 入院状況

入院状況は消化器科が10名、精神科とリハビリ科が6名と多い状況でした。貴峯荘が15名、第一・第二貴峯館が1名、貴峯荘湘南の丘が19名、合計は35名でした。

診療科別入院状況 (単位：名)

科別 所属	科別														計
	内 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 経 科	泌 尿 器 科	精 神 科	皮 膚 科	消 化 器 科	リ ハ 科	耳 鼻 科	婦 人 科	成 形 外 科	眼 科	そ の 他	
貴峯荘	1	5	0	1	1	0	0	2	5	0	0	0	0	0	15
第一・第二貴峯館	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
湘南の丘	2	0	0	0	1	6	1	8	1	0	0	0	0	0	19
合計	3	5	0	2	2	6	1	10	6	0	0	0	0	0	35

### (3) 機能訓練（リハビリ）

二次障害と機能低下防止、機能の維持増進を図る事を目的に、毎月1回嘱託医の整形外科医による機能訓練指導会、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による評価、訓練を週1回実施しました。

機能訓練（リハビリ）実施者数      《延人数》      （単位：名）

	P T訓練	S T訓練	O T訓練	機能訓練指導会	合計
貴峯荘	40	9	18	22	89
第一・第二貴峯館	2	0	0	2	4
貴峯荘ワークピア	8	2	0	1	11
貴峯荘湘南の丘	39	26	31	32	128
合計	89	37	49	57	232

## 1 1 栄養管理状況

令和5年度は、利用者の障害特性に合わせた食形態の食事の提供はもちろん、利用者ごとの栄養管理を行うとともに、ノロウイルスや食中毒防止にも留意し、新型コロナウイルス感染症防止対策として、食堂の換気、机・椅子の消毒を実施し、安全・安心な食事提供に努めました。

なお、食事量、食形態等については、栄養ケアマネジメントを活用し、利用者一人ひとりに合った食事を提供しました。行事食では、貴峯荘ワークピアや地域支援センターを利用する通所利用者に行事食を提供する場を増やす為、祝日にあたる行事食を平日に変更しました。

恒例の「餅つき大会」は、昨年度に引き続き、5月と12月の2回実施し、利用者が杵で餅をつき、食べるまでの流れを楽しんでいただきました。

年1回実施している嗜好調査では、「食べたいメニューを出してほしい」や「味付けを濃くしてほしい」などの意見があり、改善につなげました。また、「ピザが食べたい」との要望を受け、2月13日に手作りピザの提供をしました。定例的に実施している給食委員会と同様、利用者の意見や要望などを考慮するとともに、適正な栄養所要量と食事の質の向上に努めました。

グループホームの第一貴峯館・第二貴峯館では新型コロナウイルス感染症防止対策に努めながら、開所記念・誕生日会や年始の食事会を開催し、寿司や天ぷら、雑煮等の特別メニューを提供しました。また、貴峯荘第2ワークピアでは、バランスの取れたクックフリーズによる昼食を提供しました。

### (1) 栄養マネジメント実施状況

(単位：件)

	5月	8月	11月	2月	計
貴 峯 荘	34	33	33	34	134
貴峯荘湘南の丘	46	41	46	44	177
計	80	74	79	78	311

### (2) 制限食等 (令和6年3月31日現在)

(単位：名)

区 分	貴峯荘	貴峯荘 ワークピア	湘南の丘	地域支援 センター
給食総数	34	26	46	16
常食・軟菜食	26	11	26	4
経管栄養 (PEG)	0	0	0	0
カロリー制限食 (1,600kcal~1,000kcal)	8	6	17	11
塩分制限食 (8g以下)	2	2	1	0
蛋白制限食	0	1	0	0

※ カロリー・塩分制限食の重複を含む。

## (3) 刻み食対応状況

(単位：名)

区 分	貴峯荘	貴峯荘 ワークピア	湘南の丘	地域支援 センター
一口刻み	2	1	4	6
半口刻み	3	0	5	0
超刻み	0	0	9	1
ミキサー食	0	0	2	0
ソフト	0	0	3	1
合 計	5	1	23	8

## (4) 行事食

行 事 名	献立内容
春ご飯	空豆ご飯、天ぷら盛り合わせ、桜鯛のカルパッチョ、若竹汁、いちごムース
子供の日	ちらし寿司、茶碗蒸し、海鮮しゅうまい、あんこの抹茶ババロア、清汁
創立記念日	バイキング（焼肉、おにぎり、茶そば、サンドウィッチ、グラタン、ハンバーグ、銀鱈の西京焼き、茶碗蒸し、天ぷら、エビチリ、春雨サラダ、ポテトサラダ、中華スープ、フルーツ、プチケーキ、シュークリーム）
七夕	七夕そうめん、貝柱のかき揚げ、枝豆とトマトサラダ、二色すいか
土用の丑の日	うなぎ丼、昆布と里芋の煮物、そら豆の白和え、清汁
夏まつり	焼鳥、焼きそば、フランクフルト、チャーハン、たこ焼き、カレーライス、焼きおにぎり、から揚げ、フライドポテト、カットフルーツ、胡瓜の浅漬、枝豆、ソフトクリーム、かき氷
もりそば	そば、天ぷら盛り合わせ、肉じゃが、メロン
十五夜	栗ご飯、鶏肉のきのこソース、昆布と里芋の煮物、お月見ゼリー、豚汁
敬老の日	赤飯、天ぷら盛り合わせ、青菜の菊花和え、沢煮椀、フルーツ盛り合わせ
秋のお彼岸	おはぎ
ハロウィン	ロールパン、クリームシチュー、アスパラソテー、コールスロー、かぼちゃプリン
防災訓練	さんまの塩焼き、かぶのくず煮、なめたけ和え、豚汁
にぎり寿司	握り寿司(マグロ、かんぱち、サーモン、甘えび、玉子、穴子、いなり)、茶碗蒸し、清汁、メロン
勤労感謝の日	障害者週間（マグロ丼）
障害者週間（マグロ丼）	マグロ漬け丼、かぼちゃのそばろあん、白和え、清汁
クリスマス・忘年会	松花堂弁当（ピラフ、もみの木ハンバーグ、エビフライ、鶏の唐揚げ、ローストビーフ、お刺身、マカロニサラダ等）、手作りケーキ
お正月	お雑煮、おせち、七草粥、おしるこ

節分	太巻、いなり、炊き合わせ、梅マヨ和え、豆乳プリン、清汁
手作りピザ	マルゲリータ・ホワイトソース、ハッシュドポテト、ナゲット他
ひなまつり	ちらし寿司、春野菜の炊き合わせ、お浸し、さくら餅風デザート、清汁
春のお彼岸	ぼたもち

(5) 選択食の内容

区分	選択食メニュー			
昼 食	チャーシュー味噌ラーメン		焼きうどん	
	焼鳥丼		かき揚げ丼	
	担々麺		冷やし中華	
	ハムカツ		アジフライ	
	ビビンバ丼		天津飯	
	塩焼きそば		ワンタン麺	
	シーフードグラタン		唐揚げタルタルソース	
デザート	アイス(バニラ)		アイス(チョコ)	
	モンブラン		キャラメルと洋梨のパフェ	
	カレーパン	ハムチロール	メロンパン	小倉あんぱん (粒あん)

(6) 嗜好調査

	利用者からの意見等	意見等に対する改善内容
①	「ご飯の硬さに差がある」	調理師を含めて米の水分量の確認を行いました。
②	「生フルーツが食べたい」	嗜好品（ゼリー、フルーツ等）の種類が決まっており、来年度より可能な範囲で生フルーツを献立に入れていきます。
③	「急須と椅子が汚れている為新しい物に変えて欲しい」	急須は毎食洗浄していますが、汚れ等再確認していきます。椅子は毎食後ふき取りをしています。こびりつき等の確認し清掃します。安全性を考慮し椅子のがたつきの確認をしました。

他、「いつも美味しい食事をありがとうございます。」という意見も多く頂きました。

(7) 実演

・餅つき大会 5月、12月 (おやつ)

【提供内容】

5月 草もち (あんこ・きなこ)	もち 54名 おはぎ 48名 ソフト食 7名
12月 もち (あんこ)	もち 53名 おはぎ 43名 ソフト食 13名

## 1.2 リスクマネジメントの取組状況

令和5年度の事故件数は21件、ひやりはっと件数は198件、合計は219件でした。令和4年度の事故の件数は17件、ひやりはっとの件数は311件、合計は328件でした。

貴峯荘の転倒リスクが高い利用者に対してリハビリの導入を図り、歩行器使用者の増加による事故の件数は若干増加したものの、ひやりはっとの件数は100件以上減少しました。

与薬による事故は4年度同様に、令和5年度も3件でした。令和4年度には誤与薬防止に対する取り組みとして、配薬ケースの見直しと配薬から与薬までの手順の見直し、薬剤師を含めた薬局の職員が配薬セットを行うことで配薬セットのミスが減少し、令和5年度は誤与薬防止対策の効果が表れた結果となりました。

ひやりはっと・事故報告件数

(単位：件)

種類	所属	貴峯荘	貴峯荘 ワークピア	第一、二 貴峯館	貴峯荘湘南の丘		貴峯荘 地域支援 センター	貴峯荘 第2 ワークピア	合計
					なでしこ	やまゆり			
転倒・滑落 打撲・裂傷	ひやり はっと	68	2	4	21	15	1	1	112
	事故	11	0	1	0	1	0	0	13
火傷	ひやり はっと	0	0	0	0	0	0	1	1
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	ひやり はっと	4	0	0	2	0	0	0	6
	事故	1	0	0	0	0	0	0	1
与薬	ひやり はっと	0	0	0	0	0	0	0	0
	事故	0	0	0	0	3	0	0	3
支援・ 処置	ひやり はっと	0	0	0	0	0	0	0	0
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0
所在不明	ひやり はっと	0	0	0	0	3	0	0	3
	事故	0	1	0	0	1	0	0	2
その他	ひやり はっと	37	3	6	12	2	16	0	76
	事故	1	0	1	0	0	0	0	2
合計	ひやり はっと	109	5	10	35	20	17	2	198
	事故	13	1	2	0	5	0	0	21

### 1 3 メンタル相談利用状況

利用者及び職員のさまざまな不安や悩みなどの心理面・精神面に対する相談の受け皿として平成17年から実施しています。相談日は、外部の臨床心理士を相談員に委嘱して、毎月1回、利用者及び職員の不安や悩みごとについて相談をし、助言等を受けました。困難事例が発生した際にも、必要に応じて相談し、助言を参考に支援を行いました。

利用者からの相談内容としては、「利用者自身の心の葛藤」、「今後のことについて」などでした。また、職員からの相談内容としては、「利用者の支援について」、「現在の対応と今後に向けた対応方法」の相談が主でした。

利用者から積極的に相談を希望する人もいます。一方、職員が利用者の変化に気づいた際には、職員から声かけをして、相談に結び付け、生活の安定化が図れた事例もありました。このような場合は、職員が相談者の現状等を事前に相談員に説明、または同席して利用者が落ち着いて相談ができるように配慮しました。

令和5年度は37件と前年度の44件と比較して減少しました。

相談の内容・結果については個人のプライバシーに配慮しつつ、より支援が必要と思われる場合は、その対応方法を検討したうえで、個別支援計画書等に反映しました。

メンタル相談件数

(単位:件)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相 談 件 数	貴峯荘	1 (1)	0	2 (2)	1	1 (1)	1	1	1	0	0	1 (1)	0	9 (5)
	貴峯荘 ワークピア	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	貴峯荘 湘南の丘	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2	2 (1)	2 (1)	2	3	2	3 (1)	2	22 (7)
	貴峯荘地域 支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一貴峯館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貴峯荘第2 ワークピア	0	0	0	0	0	0	0	3 (3)	0	0	0	0	3 (3)
合計	3 (2)	2 (1)	3 (3)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	6 (3)	3	2	4 (2)	2	37 (15)

## 1.4 職員研修実施状況

新型コロナウイルスを法人・施設内に持ち込まないために、外部の研修についてはサービス管理責任者等研修のほか、オンラインセミナーなどを活用して実施するようにしました。また、法人内研修については、外部講師の招へいを再開しましたが、令和4年度に引き続き法人内の職員を活用することで、充実した研修となるように努めました。研修を実施する際には、換気、密にならない配置をはじめ、人数制限を行うなどの工夫を行い、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底したうえで実施しました。内部研修が実施しにくい環境ではありましたが、こうした工夫を行うことで、350名の参加となりました。

### 【法人内部研修 12件 延べ323名】

(一般・階層別研修)

No.	研修名	実施日	対象者	内 容	実施団体・講師等	参加人員
1	理事長メッセージ	4月3日 4月4日 4月5日 4月6日	全職員	令和5年度事業計画と予算等について 緊急時対応、報連相の徹底について	理事長	80
2	第1回新採用職員研修	10月3日	新採用職員	社会福祉法人の現状、社会人・職員としての心構えなどを学ぶ	理事長・理事・評議員・幹部職員	8

(介護・支援・健康管理等専門研修)

3	障害者虐待防止研修	4月5日 4月20日 4月27日 5月16日 5月17日 6月8日 6月15日 1月18日 1月30日 2月8日 2月15日	全職員	どのような支援や行為が虐待にあたるのか、虐待防止するためのポイントなどを学ぶ(グループワーク)	所長・部長・課長	61
4	オムツ研修	4月27日	全職員	介護用品の特徴と、適切なオムツの使い方について学ぶ	大王製紙株式会社	17
5	普通救命講習会	5月30日	全職員	AED設置場所、心肺蘇生法等救命救急について学ぶ	平塚市消防本部消防救急課	7
6	緊急時対応研修	6月29日	全職員	頭部打撲やてんかん発作等の緊急事態への迅速対応方法等について学ぶ	職員9名	19
7	利用者の変遷と高齢化について	9月21日	全職員	利用者の重度化・高齢化について今後の対応を考える	平嶺所長	21

8	感染対策・陰部洗浄研修	10月19日	全職員	陰部洗浄の正しい方法と感染対策並びに、褥瘡をはじめとする肌トラブルについて学ぶ	大王製紙株式会社	19
9	ボディメカニクス・トランスファー研修	11月16日	全職員	トランスファーの基本と身体の使い方を学ぶ。また、課題のある利用者のトランスファーの検討	細谷理学療法士	16
10	嘔吐物処理・標準予防策研修	12月14日	全職員	ノロウイルス等感染症の予防・消毒、嘔吐物の処理（実技）を学ぶ	支援部長	17
11	成年後見制度	1月16日	全職員	成年後見制度に関する基礎的な知識を学ぶ	平塚市成年後見利用支援センター	21
12	セクハラ・パワハラ研修	2月13日	全職員	ハラスメントについて事例とともに学ぶ	横浜地方法務局人権擁護課	37

【外部研修 20件 延べ27名】

(一般・階層別研修)

No.	研修名	実施日	対象者	内 容	実施団体・講師等	参加人員
1	サービス管理責任者等研修(基礎研修)	7月10日～ウェブ視聴 7月31日 8月18日 9月27日	サービス管理責任者候補職員	障害者等の意向に基づく地域生活を実現するために必要な援助技術を習得する	神奈川県社会福祉協議会・かながわ福祉サービス振興会ほか	3
2	サービス管理責任者補足研修	7月14日～ 7月27日	サービス管理責任者候補職員	障害者等の意向に基づく地域生活を実現するために必要な援助技術を習得する(オンライン)	特定非営利活動法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	3
3	サービス管理責任者等研修更新研修	7月27日	サービス管理責任者	障害者等の意向に基づく地域生活を実現するために必要な援助技術を習得する	特定非営利活動法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	1
4	社会福祉施設職員会計実務講座(初級コース)	8月1日～ 9月30日 10月14日～ 10月16日	会計担当者	収益、費用取引、支払資金間取引、固定資産の処理、決算書の構造の基本を学ぶ(通信・スクーリング)	全国社会福祉法人経営者協議会	1
5	社会福祉法人主任・係長講座	8月24日	主任・係長等	リーダー層の持つべき視点として、社会福祉法人の今後の経営のあり方と主任・係長に期待される役割について学ぶ(オンラインセミナー)	全国社会福祉協議会経営者部会	1

6	社会福祉施設職員会計実務講座（入門コース）	9月23日～9月25日	会計担当者	社会福祉法人の複式簿記、仕分けの基本を学ぶ	全国社会福祉法人経営者協議会	1
7	安全運転管理者講習	9月27日	運転管理担当職員	平塚市内の交通事故発生状況などをもとに、道路交通に関する法令や安全運転管理に必要な知識を学ぶ。	神奈川県安全運転管理者会連合会	1
8	サービス管理責任者等研修更新研修	11月1日	サービス管理責任者	障害者等の意向に基づく地域生活を実現するために必要な援助技術を習得する	特定非営利活動法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	1
9	サービス管理責任者補足研修	1月17日～1月31日	サービス管理責任者候補職員	障害者等の意向に基づく地域生活を実現するために必要な援助技術を習得する（オンライン）	特定非営利活動法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	1
10	令和5年度社会福祉法人会計実務者決算講座	1月30日	会計担当者等	会計担当者が社会福祉法人に求められる財務管理について理解するとともに、正しい会計処理や決算実務のポイントを学ぶ（オンライン）	全国社会福祉法人経営者協議会	1
11	サービス管理責任者等実践研修	2月15日～2月16日	サービス管理責任者（基礎研修）受講者	サービス管理責任者としての実務にあたり必要な知識を学ぶ	神奈川県社会福祉協議会・かながわ福祉サービス振興会	2
12	BCP策定・運用のポイント	2月5日 2月13日 2月29日	策定担当者等	感染症対策に加え、自然災害向けのBCP策定について、特に就労支援や生産活動に関する点について学ぶ（オンライン）	日本セルフセクター	1
13	社会福祉事業経営セミナー	2月19日	役職員等	令和6年度報酬改定のポイントを理解するとともに求められる取り組み等を学ぶ（オンライン）	全国社会福祉法人経営者協議会	2

#### 【外部研修】

（就労・介護・支援・健康管理等専門研修）

No.	研修名	実施日	対象者	内 容	実施団体・講師等	参加人員
1	介護職員初任者研修	5月27日～8月21日	支援員等	介護職員に必要な知識、技能を学ぶ	神奈川社会福祉専門学校	1

2	いざ実践！新時代の販売力向上セミナー	6月15日	就労支援員等	コロナ禍のもとでの対面販売の実践事例、SNSを活用した情報発信のノウハウを学ぶ（オンラインセミナー）	全国社会就労センター協議会	1
3	特定給食施設等講習会	7月26日	栄養士	給食施設で減塩の導入・定着をねらう「かるしおプロジェクト」について学ぶ	平塚保健福祉事務所	1
4	令和5年度感染症予防研修会	9月25日	社会福祉施設等の職員	感染対策の基本的な知識と技術を学ぶ	平塚保健福祉事務所	1
5	介護職員初任者研修	10月25日～2月21日	支援員等	介護職員に必要な知識、技能を学ぶ	ニチイ学館	1
6	特定給食施設等講習会	3月12日	栄養士	安全で適切な食事支援をしていくために、「摂食・嚥下の機能について」理解を深める	平塚保健福祉事務所	1
7	B C P 策定研修	2月5日 2月13日 2月29日	関係職員	障害福祉事業に特化したB C P策定・運用のポイントを学ぶ	株式会社インサイト	2

## 1.5 苦情及び意見・要望の状況

### 苦情及び意見・要望の状況

苦情解決取扱規程に基づく、令和5年度の苦情及び意見・要望の状況は、次のとおりでした。

- 1 苦情及び意見・要望の状況として、苦情が0件、意見・要望が2件でした。
- 2 苦情及び意見・要望の受付経路は、苦情受付担当者に2件でした。
- 3 苦情及び意見・要望の内容では、「環境」が1件、「生活支援サービス」が1件でした。
- 4 申出人の要望は、「調査してほしい」が1件、「話を聞いてほしい」が1件でしたが、すべて解決（改善）しました。
- 5 事業所別では、第一・第二貴峯館で1件、貴峯荘湘南の丘で1件、そのほかの施設・事業所からはありませんでした。
- 6 第三者委員への報告や運営適正化委員会への申し出を必要とする事案はありませんでした。

\* 今後も引き続き利用者の些細な要望も真摯に受け止め、苦情および意見要望に対する適切な対応を図り、組織全体で支援の質の向上などに繋がります。

苦情及び意見・要望の状況

1 法人全体

①苦情及び意見・要望の受付方法

受付方法	件数			
	苦情	%	意見 要望	%
直接	0	0%	2	100%
電話	0	0%	0	0%
手紙・Fax等	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%
合計	0	0%	2	100%

②苦情及び意見・要望の受付経路

受付経路	件数			
	苦情	%	意見 要望	%
苦情受付担当者直接	0	0%	2	100%
苦情解決責任者経由	0	0%	0	0%
その他職員経由	0	0%	0	0%
合計	0	0%	2	100%

③苦情及び意見・要望の申出人

利用者との関係	件数			
	苦情	%	意見 要望	%
本人	0	0%	1	50%
家族	0	0%	1	50%
代理人	0	0%	0	0%
不明（投書等）	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%
合計	0	0%	2	100%

④苦情及び意見・要望の内容

苦情等の内容	件数			
	苦情	%	意見 要望	%
生活支援サービス	0	0%	1	50%
医療・看護サービス	0	0%	0	0%
相談サービス	0	0%	0	0%
食事サービス	0	0%	0	0%
環境	0	0%	1	50%
職員対応	0	0%	0	0%
利用者間	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%
合計	0	0%	2	100%

⑤苦情及び意見・要望の申出人の要望

申出人の要望	件数			
	苦情	%	意見 要望	%
話を聞いて欲しい	0	0%	1	50%
教えて欲しい	0	0%	0	0%
回答が欲しい	0	0%	0	0%
調査して欲しい	0	0%	1	50%
改めて欲しい	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%
合計	0	0%	2	100%

⑥苦情及び意見・要望の対応結果

対応結果	件数			
	苦情	%	意見 要望	%
解決（改善等）	0	0%	2	100%
第三者委員への報告	0	0%	0	0%
運営適正化委員会への申出	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%
合計	0	0%	2	100%

## 2 事業所別内訳

### ①苦情及び意見・要望の受付方法

受付方法	貴峯荘		第一貴峯館		湘南の丘		地域支援センター		第2ワークピア		苦情小計	%	意見要望小計	%
	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望				
直接	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0%	2	100%
電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
手紙・Fax等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
合計	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0%	2	100%

### ②苦情及び意見・要望の受付経路

受付経路	貴峯荘		第一貴峯館		湘南の丘		地域支援センター		第2ワークピア		苦情小計	%	意見要望小計	%
	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望				
苦情受付担当者直接	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0%	2	100%
苦情解決責任者経由	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
その他職員経由	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
合計	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0%	2	100%

### ③苦情及び意見・要望の申出人

利用者との関係	貴峯荘		第一貴峯館		湘南の丘		地域支援センター		第2ワークピア		苦情小計	%	意見要望小計	%
	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望				
本人	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0%	1	50%
家族	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0%	1	50%
代理人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
不明（投書等）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
合計	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0%	2	100%

④苦情及び意見・要望の内容

苦情等の内容	貴峯荘		第一貴峯館		湘南の丘		地域支援センター		第2ワークスペース		苦情小計	%	意見要望小計	%
	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望				
生活支援サービス	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0%	1	50%
医療・看護サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
相談サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
食事サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
環境	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0%	1	50%
職員対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
利用者間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
合計	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0%	2	100%

⑤苦情及び意見・要望の申出人の要望

申出人の要望	貴峯荘		第一貴峯館		湘南の丘		地域支援センター		第2ワークスペース		苦情小計	%	意見要望小計	%
	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望				
話を聞いて欲しい	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0%	1	50%
教えて欲しい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
回答が欲しい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
調査して欲しい	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0%	1	50%
改めて欲しい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
合計	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0%	2	100%

⑥苦情及び意見・要望の対応結果

対応結果	貴峯荘		第一貴峯館		湘南の丘		地域支援センター		第2ワークスペース		苦情小計	%	意見要望小計	%
	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望				
解決（改善等）	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0%	2	100%
第三者委員への報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
運営適正化委員会への申出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
合計	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0%	2	100%

## 自治共済会の活動

令和5年度も引き続き新型コロナウイルス感染症防止対策を継続しました。

日々の検温や手指消毒（手洗い）の実施など自治共済会としてひとりひとりが出来る限り協力をしました。また、感染者が発生した際には個室隔離、フロア隔離などの対応に協力して感染拡大防止に努めました。

外出範囲の制限をしている中でも利用者が楽しめるようにと、会員の皆様からの意見、要望を集約し職員に伝えた結果、土日、祝日にドライブや映画会、卓上ゲーム、法人の墓参り（清掃）など工夫した余暇活動が企画・実施されました。会員各自が興味のある活動に参加し、日常生活を楽しむことが出来ました。自治共済会としては、こうした土日祝日の余暇活動の参加者に飲み物等の提供をしました。また、施設内行事の夏まつりでの盆踊りや、富士見地区の市民体育レクリエーション大会に参加し、地域の方々と交流を深めることが出来ました。一日でも早く元の生活に戻れるようにと待ちわびながらも、今後の感染症防止対策をひとりひとりが徹底して行うよう会員の周知に努めていきます。

### 令和5年度自治共済会役員

会 長	羽藤 比奈子
副会長	所 恵子
	阿部 雄二郎
給食委員	若山 智明
会 計	青野 正伸
会計監査	水堀 健司
書 記	生田 雄一
総 務	田所 正哉



## 法 人 の 沿 革

- |          |    |   |
|----------|----|---|
| 昭和24年    | 3月 | ・ 身体障害者授産施設「県立平塚貴峯荘授産所」開所   |
| 昭和33年    | 4月 | ・ 社会福祉法人神奈川県厚生協会設立  |
| 昭和42年    | 9月 | ・ 「平塚貴峯荘授産所」を「貴峯荘職業更生センター」に名称変更<br>(入所90名、通所10名)  |
| 昭和53年    | 4月 | ・ 「貴峯荘職業更生センター」を「貴峯荘第1職業更生センター」<br>(入所55名、通所20名)と「貴峯荘第2職業更生センター」<br>(入所50名、通所7名)に名称変更   |
| 平成 2年    | 4月 | ・ 「貴峯荘第1職業更生センター」の定員を変更<br>(入所30名、通所20名)<br>・ 「貴峯荘第2職業更生センター」の定員を変更<br>(入所75名、通所20名)  |
| 平成12年    | 2月 | ・ 居宅介護支援事業「貴峯荘介護援助センター」開設   |
| 平成15年    | 4月 | ・ 「貴峯荘第2職業更生センター」の定員を変更(入所60名)<br>「貴峯荘第1職業更生センター」と「貴峯荘第2職業更生センター」<br>の通所事業(各20名)の廃止   |
| 平成15年    | 4月 | ・ 身体障害者通所授産施設「貴峯荘ワークピア」の開設定員を変更(通所40名)  |
| 平成17年    | 3月 | ・ 「貴峯荘第1職業更生センター」廃止   |
| 平成17年    | 4月 | ・ 身体障害者授産施設「貴峯荘」開設(入所55名)<br>(貴峯荘第2職業更生センターから名称変更)<br>・ 身体障害者療護施設「貴峯荘湘南の丘」開設(入所52名)<br>・ 身体障害者療護施設「貴峯荘湘南の丘短期入所事業」開始(入所4名)<br>・ 身体障害者デイサービスセンター開設(定員1日15名) |
| 平成18年10月 |    | ・ 貴峯荘地域支援センター「生活介護事業」開始(定員1日10名)<br>(身体障害者デイサービスセンターから移行)<br>・ 「貴峯荘湘南の丘」短期入所事業を自立支援法に基づく短期入所事業<br>に移行<br>・ 貴峯荘地域支援センター「相談支援事業」開始                          |
| 平成19年    | 4月 | ・ 「貴峯荘ワークピア」就労継続支援事業B型開始(定員40名)<br>(身体障害者通所授産施設から移行)<br>・ 貴峯荘地域支援センター「生活介護事業」の定員変更(定員1日20名)<br>・ 「貴峯荘ケア付き住宅」の運営開始(定員5名)                                   |
| 平成21年    | 3月 | ・ 居宅介護支援事業「貴峯荘介護援助センター」の事業廃止  |
| 平成22年    | 4月 | ・ 「平塚市中里278番地1」の土地2,351.21㎡と建物を平塚市から取得<br>建物一部改修工事  |
| 平成23年    | 1月 | ・ 貴峯荘地域支援センターを「平塚市中里」へ移転<br>・ 障害者支援施設「貴峯荘湘南の丘短期入所事業」の定員変更(入所5名)   |

- 平成23年 4月 ・「貴峯荘」施設入所支援、生活介護に移行（定員55名）  
（身体障害者入所授産施設から移行）
- ・「貴峯荘湘南の丘」施設入所支援、生活介護に移行（定員52名）  
（身体障害者療護施設から移行）
- ・障害者支援施設「貴峯荘短期入所事業」開始（入所2名）
- 平成24年 3月 ・貴峯荘個室化改修工事
- 平成24年 4月 ・障害者支援施設「貴峯荘」の定員変更（定員40名）
- ・障害者支援施設「貴峯荘短期入所事業」の定員変更（入所4名）
- ・「貴峯荘地域支援センター」特定相談支援事業開始
- 平成25年 3月 ・「貴峯荘ケア付き住宅」の事業廃止
- 平成25年 4月 ・「貴峯荘ワークピア」就労継続支援事業B型の定員変更（定員20名）
- ・「貴峯荘地域支援センター」一般相談支援事業（地域移行・地域定着）開始
- 平成26年 4月 ・共同生活援助事業「第一貴峯館」を開設  
（定員7名 サテライト型住居2名（平成26年8月1名、10月1名）
- 平成28年 2月 ・民有地(伊勢原市岡崎字権現堂 6530-1：就労継続支援事業A型、B型事業用地)  
1, 526. 17㎡取得
- 平成28年 6月 ・「貴峯荘第2ワークピア」開設 就労継続支援事業A型（定員10名）  
B型（定員10名）伊勢原市岡崎
- ・「貴峯荘第2ワークピア」特定相談支援事業・一般相談支援事業（地域移行・地域定着）開始
- 平成28年11月 ・収益事業「厚生協会クリナース」事業廃止
- 平成29年 2月 ・県有地(平塚市達上ヶ丘 1450-8、145・中里 265-2、16：貴峯荘、貴峯荘湘南の  
丘、貴峯荘ワークピア敷地)5, 529. 07㎡取得
- 平成29年 3月 ・民有地(平塚市中里 266-1、265-17：共同生活援助事業用地)326. 93㎡取得
- 平成29年11月 ・共同生活援助事業「第一貴峯館」の定員を7名から8名に定員変更
- 平成30年 4月 ・共同生活援助事業「第二貴峯館」（定員7名）を開設
- ・共同生活援助事業「第一貴峯館」の定員を8名から7名に定員変更  
（サテライト型住居（2名）廃止）
- 平成30年12月 ・法人名を「神奈川県厚生協会」から「貴 峯」に名称変更
- 平成31年 3月 ・社会福祉法人 貴 峯 のお墓の建立（平塚四之宮霊園）
- 令和 6年 3月 ・貴峯荘・貴峯荘湘南の丘大規模修繕工事

# 資 料 編

令和5年度 利用者状況総括表

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>貴 峯 荘</b> 施設入所支援 生活介護 (定員40名)	入所者数	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34
	通所利用者数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
	異動状況	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>貴 峯 荘</b> 短期入所事業 (定員4名)	利用者実人数	3	2	1	2	3	1	2	2	2	2	2
	延利用者数	3	2	1	2	3	1	2	4	5	5	3
	延利用日数	47日	30日	5日	27日	26日	5日	13日	40日	37日	32日	12日
<b>貴峯荘ワークピア</b> 就労継続支援B型 (定員20名)	利用者実人数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
	事業実施日数	23日	23日	22日	23日	23日	22日	23日	22日	22日	21日	22日
	入所者数	47	47	47	47	46	46	47	46	46	46	46
<b>貴峯荘湘南の丘</b> 施設入所支援 生活介護 (定員52名)	異動状況	0	0	0	0	△1	0	△1	0	0	0	0
	利用者実人数	0	1	1	1	1	0	2	1	0	2	0
	延利用者数	0	1	2	2	1	0	1	1	0	1	0
<b>貴峯荘湘南の丘</b> 短期入所事業 (定員5名)	延利用日数	0日	3日	11日	3日	2日	0日	6日	2日	0日	4日	0日
	利用者実人員	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15	15
	事業実施日数	20日	21日	22日	20日	22日	20日	21日	20日	21日	19日	20日
<b>貴峯荘地域 支援センター</b> 生活介護 (定員20名)	延利用者数	115	103	122	100	108	105	109	113	104	104	111
	1日当たりの 利用者数	5.8	4.9	5.5	5.0	4.9	5.3	5.2	5.4	5.5	5.5	5.6
	入居者数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
<b>第一貴峯館</b> 指定共同生活援助事業 定員 (第一貴峯館7名) (第二貴峯館7名)	異動状況	0	△1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者実人数 (A型)	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
	事業実施日数	25日	27日	26日	26日	27日	26日	26日	25日	26日	25日	25日
<b>貴峯荘第2ワークピア</b> 就労継続支援A型・B型 (定員10名+10名)	利用者実人数 (B型)	14	14	14	14	14	14	15	15	15	15	15
	事業実施日数	25日	27日	26日	26日	27日	26日	26日	26日	26日	25日	25日
	事業実施日数	25日	27日	26日	26日	27日	26日	26日	26日	26日	25日	25日

# 貴峯荘利用者状況

令和6年3月31日現在

a. 入所者状況 (障害・作業科目・等級)

区分	人数		構成比 %		作業科目 (人)						障害等級 (人)					
	男	女	合計		クリーニング	印刷	軽作業	縫製	1級	2級	3級	4級	5級	6級		
脳性マヒ	13	2	15	44.1	3	1	7	4	0	8	3	1	2	1		
脳血管障害	4	0	4	11.8	2	0	2	0	2	1	1	0	0	0		
聴覚障害	5	2	7	20.6	4	2	0	1	0	7	0	0	0	0		
脊髄損傷	1	0	1	2.9	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0		
頭部外傷	1	0	1	2.9	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0		
小脳性失調	1	0	1	2.9	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
他神経系疾患	1	0	1	2.9	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0		
骨関節疾患	0	1	1	2.9	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
切断	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
複合障害	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	2	1	3	8.8	2	0	1	0	1	2	0	0	0	0		
計	28	6	34	100	14	3	12	5	4	19	6	2	2	1		

b. 年齢階層別状況

区分	人数		構成比 %	
	男	女	合計	
20歳未満	0	0	0	0.0
20～29歳	0	0	0	0.0
30～39歳	0	0	0	0.0
40～49歳	0	0	0	0.0
50～59歳	5	0	5	14.7
60～69歳	11	4	15	44.1
70歳以上	12	2	14	41.2
計	28	6	34	100
最高年齢(才)	82	77	---	---
平均年齢(才)	67.4	68.3	---	全体平均 67.1

c. 利用年数別状況

区分	人数		構成比 %	
	男	女	合計	
1年未満	0	0	0	0.0
1～3年未満	0	0	0	0.0
3～5年未満	3	0	3	8.8
5～10年未満	4	1	5	14.7
10～15年未満	2	0	2	5.9
15～20年未満	0	0	0	0.0
20～25年未満	4	0	4	11.8
25～30年未満	2	1	3	8.8
30年以上	13	4	17	50.0
平均年数(年)	27	29	---	全体平均 27.2

d. 日常生活動作別状況

区分	移動						食事			入浴			着脱			排泄		
	自立	歩行補助具	車椅子	移乗動作		自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自
				自	一部介助													
男性	13	9	7	6	1	21	7	12	16	26	2	26	2	2	2	2	2	2
女性	4	0	2	2	0	4	2	4	2	5	1	5	1	1	1	1	1	1
計	17	9	9	8	1	25	9	16	18	31	3	31	3	3	3	3	3	3
構成比%	48.6	25.7	25.7	89	0.1	73.5	26.5	47.1	52.9	91.2	8.8	91.2	8.8	91.2	8.8	91.2	8.8	8.8

e. 支援機関別状況

区分	県内		平塚市		横浜市内		横浜市		川崎市		横須賀市		相模原市		東京都		他	計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
人数	11	0	4	1	6	1	0	1	3	1	2	1	2	1	2	1	0	28	6	34
構成比 %	32.4		14.7		20.6		2.9		11.8		8.8		8.8		8.8		0.0	100		100

f. 年金受給状況

区分	国障基1級		国障基2級		国障基2級		障害補償年金(労災)		老齢年金		共済年金		無年金		生保	計
	人数	構成比 %	人数	構成比 %	人数	構成比 %	人数	構成比 %	人数	構成比 %	人数	構成比 %	人数	構成比 %		
人数	12		12		3		1		0		1		0		5	34
構成比 %	35.3		35.3		8.8		2.9		0.0		2.9		0.0		14.7	100

g. 利用者負担額別状況

利用料		食費・光熱水費	
月額上限	人数	補足給付額(月額)	人数
0	34	0	10
5000円未満	0	1～150円未満	1
10,000円未満	0	151～300円未満	12
15,000円未満	0	301～450円未満	2
20,000円未満	0	451～600円未満	3
25,000円未満	0	601～750円未満	0
30,000円未満	0	751～900円未満	0
35,000円未満	0	901～1050円未満	0
37,200円以下	0	1051～1,185円以下	0
---	---	1186～1908円	6
計	34	計	34

h. 日額賃金状況

区分	最高	平均
クリーニング	3,360円	1,496円
印刷	1,680円	1,260円
軽作業(組立)	660円	403円
軽作業(クリンナップ)	1,620円	912円
縫製	1,620円	780円

i. 障害支援区分

支援区分	人数
区分6	4
区分5	18
区分4	9
区分3	3
区分2	0
区分1	0
計	34
平均区分	4.68

# 貴峯荘生活介護(通所)利用者状況

令和6年3月31日現在

a. 通所者状況(障害・作業科目・等級)

区分	人数		構成比 %	作業科目(人)						障害等級(人)					
	男	女		合計	クリーニング	印刷	軽作業	縫製	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
脳性マヒ	4	2	6	4	2	0	0	1	4	1	0	0	0		
脳血管障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
聴覚障害	1	1	2	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0		
脊髄損傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
頭部外傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小脳性失調	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
他神経系疾患	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
骨関節疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
切断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
複合障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	2	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0		
計	6	5	11	6	2	0	2	1	6	2	1	0	0		

b. 年齢階層別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
20歳未満	1	0	9.1
20～29歳	0	1	9.1
30～39歳	0	0	0.0
40～49歳	1	0	9.1
50～59歳	0	2	18.2
60～69歳	4	2	54.5
70歳以上	0	0	0.0
計	6	5	100
最高年齢(才)	68	66	---
平均年齢(才)	53.5	52.2	52.9

c. 利用年数別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
1年未満	1	0	9.1
1～3年未満	1	0	9.1
3～5年未満	0	0	0.0
5～10年未満	0	0	0.0
10～15年未満	0	1	9.1
15～20年未満	0	1	9
20～25年未満	0	0	0.0
25～30年未満	1	0	9
30年以上	3	3	54.5
計	6	5	100
平均年数(年)	26.3	29.6	28.6

d. 日常生活活動別状況

区分	移動		食事		入浴		着脱		排泄	
	歩行補助具	車椅子	移動動作		自配	自入	一部介助	自着	一部介助	一部介助
			自	立						
男性	3	2	1	0	1	3	3	5	1	5
女性	3	2	0	0	0	3	2	5	0	5
計	6	4	1	0	1	6	5	10	1	10
構成比%	54.5	36.4	9.1	0.0	100	54.5	45.5	90.9	9.1	90.9

e. 支援機関別状況

区分	県内		横浜		川崎市		横須賀市		相模原市		東京都		他県	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	5	2	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比%	63.6	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

f. 年金受給状況

区分	国障基		障害厚生		障害補償年金(労災)		老齢年金		共済年金		無年金		生保	
	1級	2級	1級	2級	障害補償年金	(労災)	老齢年金	共済年金	無年金	生保	計			
人数	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	11
構成比%	63.6	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	100

g. 利用者負担額別状況

月額上限	利用料		食費・光熱水費	
	人数	人数	補足給付額(日額)	人数
0	11	0	0	0
5000円未満	0	0	1～150円未満	0
10,000円未満	0	0	151～300円未満	0
15,000円未満	0	0	301～450円未満	11
20,000円未満	0	0	451～600円未満	0
25,000円未満	0	0	601～750円未満	0
30,000円未満	0	0	751～900円未満	0
35,000円未満	0	0	901～1050円未満	0
37,200円以下	0	0	1051～1,185円以下	0
---	---	---	1186～1908円	0
計	11	11	計	11

h. 日額賃金状況

区分	最高	平均
クリーニング	1,620円	950円
印刷	4,740円	4,740円
軽作業(簡易)	0円	0円
軽作業(クリンナップ)	0円	0円
縫製	2,040円	1,200円

i. 障害支援区分

支援区分	人数
区分6	2
区分5	3
区分4	5
区分3	1
区分2	0
区分1	0
計	11
平均区分	4.55

# 貴峯荘ワークピア（就労継続支援事業B型）利用者状況

令和6年3月31日現在

## a. 利用者状況（障害・作業科目・等級）

区分	人数		構成比 %	作業科目				障害等級				
	男	女		クリーニング	印刷	縫製	1級	2級	3級	4級	5級	6級
脳性マヒ	5	2	22.6	1	4	1	1	1	4	2	0	0
脳血管障害	2	1	9.7	1	2	0	0	1	1	0	0	1
聴覚障害	1	0	3.2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
脊髄損傷	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭部外傷	1	0	3.2	0	0	1	0	0	1	0	0	0
小脳性失調	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他神経系疾患	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨関節疾患	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
切断	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
複合障害	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	3.2	0	0	0	1	0	0	0	1	0
身体障害計	10	3	42	5	7	3	3	0	0	0	0	0
精神障害	1	0	3.2	1	0	0	0	1	0	0	0	0
知的障害	3	1	12.9	1	1	1	1	4	名（B1 2名、A2 2名）	0	0	0
計	14	4	58	7	8	4	4	18				18

## b. 年齢階層別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
20歳未満	1	0	5.6
20～29歳	0	1	5.6
30～39歳	3	0	16.7
40～49歳	4	1	27.8
50～59歳	3	1	22.2
60～69歳	1	1	11.1
70歳以上	2	0	11.1
計	14	4	100.0
最高年齢	86	60	全体平均
平均年齢	49	44.8	48.1

## c. 利用年数別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
1年未満	2	0	11.1
1～3年未満	0	1	5.6
3～5年未満	0	1	5.6
5～10年未満	4	1	27.8
10～15年未満	2	0	11.1
15～20年未満	3	0	16.7
20～25年未満	1	0	5.6
25～30年未満	2	0	11.1
30年以上	0	1	5.6
計	14	4	100
平均年数	14.2	11.0	12.7

## d. 日常生活活動別状況

区分	移動		食事		入浴		着脱		排泄	
	自立	車椅子	自配	自膳	自介	自立	自介	自助	自介	自助
男性	8	5	1	0	1	10	4	12	2	13
女性	1	2	1	1	0	1	3	3	1	4
計	9	7	2	1	1	11	7	15	3	17
構成比%	50	38.9	11.1	5.56	5.56	61.1	38.9	83.3	16.7	94.4

## e. 支援機関別状況

区分	県内		平塚市		横浜市		川崎市		横須賀市		相模原市		東京都		他県	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	2	0	12	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比%	11.1		88.9		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	

## f. 年金受給状況

区分	国障基1級		国障基2級		障害厚生		障害補償年金(労災)		老齢年金		共済年金		無年金		生保	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
人数	7		7		0		0		0		0		4		0	
構成比%	38.9		38.9		0.0		0.0		0.0		0.0		22.2		0.0	

## g. 利用者負担額別状況

月額上限	人数
0	18
5000円未満	0
10,000円未満	0
15,000円未満	0
20,000円未満	0
25,000円未満	0
30,000円未満	0
35,000円未満	0
37,200円以下	0
計	18

## h. 日額賃金状況

区分	最高	平均
クリーニング	4,140円	2,184円
印刷	4,500円	1,700円
軽作業(組立)	240円	240円
軽作業(クリンナップ)	900円	900円
縫製	1,680円	1,220円

## i. 障害支援区分

支援区分	人数
区分6	0
区分5	0
区分4	3
区分3	8
区分2	3
区分1	0
非該当	0
無判定	4
計	18
平均区分	2.33

食事提供加算対象者  
(支給額 300円)

18名

# 貴峯荘湘南の丘利用者状況

令和 6 年 3 月 31 日現在

a. 入所者状況 (障害・等級)

区分	人数		構成比 %
	男	女	
脳性マヒ	9	7	34.8
脳血管障害	6	6	26.1
聴覚障害	0	0	0.0
脊髄損傷	0	0	0.0
頭部外傷	2	0	4.3
小脳性失調	2	1	6.5
他神経系疾患	0	0	0.0
骨関節疾患	1	0	2.2
切断	0	0	0.0
筋ジス	0	0	0.0
複合障害	0	0	0.0
その他	6	6	26.1
計	26	20	100

b. 年齢階層別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
20歳未満	0	0	0.0
20～29歳	0	0	0.0
30～39歳	0	0	0.0
40～49歳	1	3	8.7
50～59歳	12	6	39.1
60～69歳	6	4	21.7
70歳以上	7	7	30.4
計	26	20	100
最高年齢	81	88	---
平均年齢	62.8	63.1	全体平均 62.9

c. 利用年数別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
1年未満	1	0	2.2
1～3年未満	5	1	13.0
3～5年未満	1	1	4.3
5～10年未満	3	6	19.6
10～15年未満	3	1	8.7
15～20年未満	13	11	52.2
20～25年未満	0	0	0.0
25～30年未満	0	0	0.0
30年以上	0	0	0.0
計	26	20	100.0
平均年数	11.5	17.6	14.2

d. 日常生活動作別状況

区分	人数	構成比 %	移動		移動手段		食事				入浴			着脱		排泄												
			自立	介助	歩行補助具等	車椅子	移乗動作	制限食	下膳	配膳	配膳	食物繊維	主食	副菜	見守り	自立	一部介助	自立	一部介助									
																				自立	介助	常食	特食	自立	一部介助	自立	一部介助	
男	21	5	24	11	13	0	0	26	9	1	0	24	2	19	7	0	0	12	14	7	8	11	6	8	12			
女	14	6	19	8	11	0	0	20	7	3	0	19	1	10	10	0	2	6	12	3	11	6	3	11	6	8	9	
計	35	11	5	43	19	24	0	0	46	4	0	43	3	29	17	0	2	18	26	10	19	17	9	16	21	21		
構成比 %	76.1	23.9	10.87	93.5	44.2	55.81	0.0	0.0	100	4.3	95.7	34.78	8.7	0	93.5	6.5	63.0	37.0	0	4.3	39.1	56.5	21.7	41.3	37.0	19.6	34.8	45.7

e. 支援機関別状況

区分	人数	構成比 %	管内		横浜市		川崎市		横須賀市		相模原市		東京都					
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
人数	46	0	12	10	4	7	1	0	0	1	1	1	1	1	1	26	20	46
構成比 %	47.8	23.9	17.4	100	0.0	0.0	4.3	2.2	4.3	4.3	100							

h. 障害支援区分

支援区分	人数
区分6	28
区分5	14
区分4	3
区分3	1
区分2	0
区分1	0
計	46
平均区分	5.50

f. 年金受給状況

区分	人数	構成比 %	国障基 1級	国障基 2級	障害補償 年金(労災)	老齢年金	共済年金	無年金	生保
人数	28	60.9	6	5	0	3	0	0	4
構成比 %	60.9	13.0	10.9	6.5	0.0	0.0	8.7	100	

g. 利用者負担額別状況

利用上限	人数	食費・光熱水費 補足給付(日額)	人数
0	46	0	9
5000円未満	0	1～150円未満	1
10000円未満	0	150～300円未満	21
15000円未満	0	300～450円未満	4
20000円未満	0	450～600円未満	4
25000円未満	0	600～750円未満	0
30000円未満	0	750～900円未満	0
35000円未満	0	900～1050円未満	0
37200円以下	0	1050～1185円以下	0
---	---	1186～1908円未満	7
計	46	計	46

貴峯荘地域支援センター（生活介護事業）利用者状況

令和 6 年 3 月 31 日現在

a. 利用者状況（障害・等級）

区分	人数		障害等級（人）						構成比	
	男	女	1級	2級	3級	4級	5級	6級	%	
脳性マヒ	1	2	2	1	0	0	0	0	20.0	
脳血管障害	1	0	1	0	0	0	0	0	6.7	
聴覚障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
脊髄損傷	2	0	2	0	0	0	0	0	13.3	
頭部外傷	1	0	1	0	0	0	0	0	6.7	
小脳性失調	0	1	0	1	0	0	0	0	6.7	
他神経系疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
骨関節疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
切断	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
複合障害	0	1	1	0	0	0	0	0	6.7	
その他	1	3	4	1	3	0	0	0	26.7	
知的障害	0	2	2	1	3	0	0	0	13.3	2名（A2:1人 B1:1人）
計	6	9	15	8	5	0	0	0	100	

b. 年齢階層別状況

区分	人数		構成比	
	男	女	合計	%
20歳未満	1	1	2	13.3
20～29歳	0	1	1	6.7
30～39歳	0	1	1	6.7
40～49歳	2	2	4	26.7
50～59歳	1	3	4	26.7
60～69歳	1	1	2	13.3
70歳以上	1	0	1	6.7
計	6	9	15	100
最高年齢	70	68	---	---
平均年齢	50.3	45.4	全体平均	47.4

c. 利用年数別状況

区分	人数		構成比	
	男	女	合計	%
1年未満	1	1	2	13.3
1～3年未満	0	2	2	13.3
3～5年未満	1	0	1	6.7
5～10年未満	0	2	2	13.3
10～15年未満	0	1	1	6.7
15～20年未満	4	3	7	46.7
20～25年未満	0	0	0	0.0
25～30年未満	0	0	0	0.0
30年以上	0	0	0	0.0
計	6	9	15	100
平均年数	11.2	8.8	9.73	

d. 日常生活活動別状況

区分	移動		食事	入浴	着脱	排泄								
	歩行補助具	車椅子												
			自立	介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助				
男性	3	0	4	0	4	0	6	1	4	2	1	3		
女性	1	3	6	1	5	0	9	1	3	5	1	4		
計	4	3	10	1	9	0	15	2	4	9	3	7		
構成比%	26.7	20.0	66.7	10.0	90.0	0.0	100	13.3	26.7	60.0	33.3	33.3	20.0	46.7

e. 障害支援区分

支援区分	人数
区分6	7
区分5	5
区分4	0
区分3	3
区分2	0
区分1	0
非該当	0
計	15
平均区分	5.1

f. 利用日数（利用定員20名）

週当りの利用希望日数	人数	日数
週5日利用希望者	1	5
週4日利用希望者	0	0
週3日利用希望者	5	15
週2日利用希望者	5	10
週1日利用希望者	4	4
計	15	34
1日当りの平均利用予定者数		6.8

g. 利用者負担額別状況

月額上限	人数
0	13
5000円未満	0
10,000円未満	1
15,000円未満	0
20,000円未満	0
25,000円未満	0
30,000円未満	0
35,000円未満	0
37,200円以下	1
計	15

食事提供  
加算対象  
者  
(支給額)  
300円  
13名

h. 支援機関別状況

区分	県内		県外		構成比%
	男	女	男	女	
人数	0	1	6	8	6.7
構成比%	0.0	6.7	93.3	0.0	93.3

i. 年金受給状況

区分	国障基1級		国障基2級		障害補償年金(労災)		老齢年金		共済年金		無年金		生保	計
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%		
人数	7	46.7	3	20.0	1	6.7	0	0.0	0	0.0	3	20.0	0	15
構成比%	46.7	20.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	100

第一貴峯館・第二貴峯館（指定共同生活介護事業所）利用者状況

令和 6 年 3 月 31 日現在

a. 利用者状況（障害・作業科目・等級）

区分	人数		構成比 %	作業科目(人)				障害等級(人)					
	男	女		生活介護	就労A	就労B	一般就労	1級	2級	3級	4級	5級	6級
脳性マヒ	2	2	40.0	4	0	0	0	1	2	1	0	0	0
脳血管障害	1	0	10.0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
聴覚障害	0	1	10.0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
脊髄損傷	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭部外傷	1	0	10.0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
小脳性失調	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他神経系疾患	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨関節疾患	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
切断	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
複合障害	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	10.0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
身体障害計	5	3	80.0	5	0	3	0	2	4	1	0	1	0
精神障害	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	1	1	20.0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
計	6	4	100	5	1	3	1	2	4	1	0	1	10

b. 年齢階層別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
20歳未満	0	0	0.0
20～29歳	0	0	0.0
30～39歳	0	1	10.0
40～49歳	1	0	10.0
50～59歳	1	1	20.0
60～69歳	2	2	40.0
70歳以上	2	0	20.0
計	6	4	100
最高年齢(才)	86	66	
平均年齢(才)	64.2	53.0	全体平均 59.7

c. 利用年数別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
1年未満	1	0	10.0
1～3年未満	0	0	0.0
3～5年未満	0	0	0.0
5～10年未満	5	4	90.0
10～15年未満	0	0	0.0
15～20年未満	0	0	0.0
20～25年未満	0	0	0.0
25～30年未満	0	0	0.0
30年以上	0	0	0.0
平均年数(年)	7.0	8.0	全体平均 7.5

d. 日常生活動作別状況

区分	移動		食事		入浴		着脱		排泄	
	自立	歩行補助具	自配	自膳	自立	一部介助	自立	一部介助	自立	一部介助
男性	3	2	1	0	1	5	1	5	1	5
女性	4	0	0	0	2	2	4	0	4	0
計	7	2	1	0	1	7	3	9	1	9
構成比%	70	20	10	0	10	30	30	90	10	90

e. 支援機関別状況

区分	県内		平塚市		横浜市		川崎市		横須賀市		相模原市		東京都	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	3	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比%	60.0	60.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

f. 年金受給状況

区分	国障基1級		国障基2級		障害補償年金(労災)		老齢年金		共済年金		無年金		計
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	
人数	6	60.0	3	30.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	10
構成比%	60.0	60.0	30.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

g. 利用者負担額別状況

月額上限	人数
0	10
5000円未満	0
10,000円未満	0
15,000円未満	0
20,000円未満	0
25,000円未満	0
30,000円未満	0
35,000円未満	0
37,200円以下	0
計	10

h. 障害支援区分

支援区分	人数
区分6	0
区分5	1
区分4	4
区分3	3
区分2	0
区分1	0
非該当	0
無判定	2
合計	10

a. 利用者状況 (障害・等級)

区分	A型					B型												
	人数		構成比 %	障害等級 (人)			人数		構成比 %	障害等級 (人)								
	男	女		合計	1級	2級	3級	4級		5級	6級	合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級
脳性マヒ	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳血管障害	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚障害	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脊髄損傷	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭部外傷	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小脳性失調	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他神経系疾患	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨関節疾患	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
切断	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
複合障害	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体障害計	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神障害	1	0	16.7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	5	0	83.3	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	0	100	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

b. 年齢階層別状況

区分	A型					B型					
	人数		構成比 %	人数		構成比 %	人数		構成比 %	人数	
	男	女		合計	男		女	合計		男	女
20歳未満	0	0	0.0	0	0	0.0	1	0	1	8.3	
20～29歳	1	0	16.7	1	0	16.7	3	3	6	50.0	
30～39歳	1	0	16.7	1	0	16.7	1	0	1	8.3	
40～49歳	4	0	66.7	4	0	66.7	2	2	4	33.3	
50～59歳	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	
60～69歳	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	
70歳以上	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	
計	6	0	100	6	0	100	7	5	12	100	
最高年齢(歳)	49	0	---	49	0	---	40	48	---	---	
平均年齢(歳)	39.7	0	39.7	39.7	0	39.7	28.4	32.6	30.2	30.2	

c. 日常生活動作別状況

区分	A型					B型				
	移動歩行補助具なし	食事		排泄	移動歩行補助具なし	歩行補助具あり	食事		排泄	一部介助
		自立	配膳				自立	配膳		
男性	6	0	6	0	6	0	6	1	7	0
女性	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0
計	6	0	6	0	6	0	6	9	12	0
構成比%	100	0	100	0	100	0	100	75.0	25.0	100

f. 利用者負担額別状況

月額上限	人数	
	A型	B型
0	6	12
5000円未満	0	0
10,000円未満	0	0
15,000円未満	0	0
20,000円未満	0	0
25,000円未満	0	0
30,000円未満	0	0
35,000円未満	0	0
37,200円以下	0	0
計	6	12

食事提供加算対象者  
(支給額 300円)

18名

d. 支援機関別状況

区分	伊勢原市		厚木市		国障基1級		国障基2級		障害補償年金(労災)		老齢年金		共済年金		無年金		生保		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	A型	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
構成比%	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
B型	4	2	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
構成比%	50.0	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

e. 年金受給状況

区分	人数		国障基1級		国障基2級		障害補償年金(労災)		老齢年金		共済年金		無年金		生保		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	A型	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
構成比%	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
B型	2	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
構成比%	16.7	25.0	16.7	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.3	0.0	0.0	0.0	100

g. 日額賃金状況

区分	最高	平均
A型	7,314円	7,195円
B型	2,820円	1,445円

h. 障害支援区分

支援区分	人数	
	A型	B型
区分6	0	0
区分5	0	0
区分4	0	2
区分3	1	2
区分2	2	5
区分1	0	0
非該当	1	0
無判定	2	3
平均区分	1.17	2.00



# 第四次中期行動計画

令和6年度～10年度

---

～ 法人経営・施設運営の

基本方針と重点的取り組み ～

社会福祉法人 貴 峯

# 目 次

I	策定の趣旨	1
II	法人経営の「基本方針」と「重点的取り組み」	2
	基本方針	2
	重点的取り組み	
	○組織の一体化のもとで利用者満足の実現	2
	○指定共同生活援助事業（グループホーム）の体制整備	2
	○福祉サービス第三者評価の実施	2
	○法人と施設の将来方向の研究	3
	○地域支援センター敷地の活用	3
	○防災対策の着実な整備	3
III	施設運営の「基本方針」と「重点的取り組み」	3
	基本方針	3
	重点的取り組み	
	○授産部の充実	4
	○ボランティア受入れの計画的取り組み	4
	○貴峯荘と貴峯荘湘南の丘の組織連携の強化	4
	○日中活動のあり方検討	4
	○研修の強化と職員自己啓発への支援	5
	○通所部門の活動強化と相談機能の充実	5
IV	附属資料	6

## 第四次中期行動計画の策定について

### I 策定の趣旨

社会福祉法人 貴峯は、平成21年4月1日を起点とする5ヶ年間の「第一次中期行動計画」を、さらに平成26年4月1日からは「第二次中期行動計画」を、令和元年4月1日からは「第三次中期行動計画」を定め、法人経営と施設運営の計画的かつ具体的な指針としてまいりました。

折から、平成29年度の社会福祉法の改正は、その視点として社会福祉法人は、これまで以上の公益性、非営利の確保、多様・複雑化する福祉ニーズへの的確な対応等を通して地域社会の発展に貢献することを掲げ、具体的な取組として、

- ガバナンス（統治機能）の強化
- 事業運営の透明化
- 財政規律の整備
- 地域における公営的な取り組み

を求めています。

この改正は、これまでもそれぞれの社会福祉法人が取り組んできたものであるとはいえ、改めて法定化された意義は大きく、社会の公器としての社会福祉法人のあり方が問われる時代の分岐点と認識しなければならないと考えております。

私共は、時代の変化への的確な対応を念頭におきつつ、

- 利用者の人権尊重と様々なハラスメントの根絶
- より質の高いサービスの提供
- 経営の合理化、健全化の促進
- 地域社会からの一層の信頼の確保

を基本命題として、第一次、第二次、第三次計画に引き続き、令和6年4月を起点とする、向こう5ヶ年間の「第四次中期行動計画」を策定することとします。

名称	社会福祉法人 貴 峯 第 四 次 中 期 行 動 計 画
期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
構 成	法人経営の「基本方針」と「重点的取り組み」 施設運営の「基本方針」と「重点的取り組み」

## II 法人経営の「基本方針」と「重点的取り組み」

### 基本方針

- 1 部門間連携の緊密化と相互協力体制の強化をとおして、統制のとれた一体的な組織運営に努めます。
- 2 社会福祉関係法令等を遵守し、職員に浸透徹底することによって、利用者並びに地域社会からの信頼にこたえていきます。
- 3 利用者、職員等に対し、経営内容に係る情報の開示に努め、経営の透明化、信頼性の確保に努めます。
- 4 災害に強く安心のできる防災体制を確立するとともに、権利擁護、個人情報の保護、ハラスメントへの対応等、今日的なテーマへの対応に努めます。

### 重点的取り組み

#### ○組織の一体化のもとで利用者満足の実現

- 評議員会、理事会で定めた活動方針に即し、「就労」、「生活介護」、「医療・看護」、「食事提供」の各部門の連携を密にし、一体感のある組織運営に努めます。
- 利用者の人権尊重、苦情への対応、ハラスメントの根絶、マイナンバーの取り扱い等に不断の点検を重ね利用者との信頼関係を築いてまいります。

#### ○指定共同生活援助事業（グループホーム）の体制整備

「指定共同生活援助事業」の円滑な運営を確保するとともに、さらなる利用ニーズの把握に努め、受入れ体制を整えていきます。

#### ○福祉サービス第三者評価の実施

サービスの質の向上を目指し、公正・中立な第三者評価機関による評価を検討します。

## ○法人と施設の将来方向の研究

開設から今日までの身体障害者の支援施設としての使命、役割を基調におきながら、地域に生活する在宅の知的障害者ならびに精神障害者等への支援を視野に入れた法人と施設の将来のあり方について研究します。

## ○地域支援センター敷地の活用

地域支援センター敷地の有効利用については、地域状況を勘案しながら法人の役割を果たすべく、在宅障害児・者及び家族への支援、高齢者向け住宅や高齢の障害者対策等、居宅介護サービス事業等の整備の可否について、幅広く検討します。

## ○防災対策の着実な整備

順次、防災資機材の充実を図るとともに、危険個所の点検や備蓄食糧の準備等に取り組むとともに、事業継続計画（BCP）策定による総合防災マニュアルの見直し等により安心・安全な体制を整えます。

## Ⅲ 施設運営の「基本方針」と「重点的取り組み」

### 基本方針

- 1 利用者の権利を守り、利用者から信頼され、利用者が安心して働き、生きがいをもって生活できる施設を目指します。
- 2 より質の高いサービスを提供するため、職員の能力開発、研修を積み重ねることによって、専門性の向上に努めます。
- 3 就労分野の高い品質を維持し、市場競争を生き抜くため必要な設備投資、新技術システムの導入等ハード、ソフト両面にわたって基盤整備に努めることとします。
- 4 地域社会との連携を強め、地域における障害者福祉の拠点施設としての責任、役割を果たします。

## 重点的な取り組み

### ○授産部の充実

- クリーニング・印刷・縫製・軽作業の各部門について、営業活動の充実による、仕事量の確保及び新規作業種目ならびに新規顧客の開拓に努めるとともに、作業能力の維持ならびに高度化に向けた職員、利用者の確保・研修に取り組みます。
- 利用者の高齢化に伴って、組立・軽作業への転向希望が増えつつあることから、精密作業から粗大作業まで幅広い作業種目の導入に取り組みます。

### ○ボランティア受入れの計画的取り組み

- 地元自治会との協調・連携のもとに、ボランティア登録ならびに受入れの「倍増」を目標として計画的に取り組みます。
- また、地域の学校のサークル活動と協力した利用者との交流の場を検討するなど、地域社会との連携を強めていきます。

### ○貴峯荘と貴峯荘湘南の丘の組織連携の強化

- 貴峯荘の利用者の高齢化に伴う支援区分の重度化を勘案し、湘南の丘との日中活動の交流をはじめとする相互交流のあり方について検討していきます。

### ○日中活動のあり方検討

- 各種クラブ活動・社会参加活動・イベント行事等の現状分析と将来方向を検討し、日中活動プログラムの充実を図ります。
- また、「ふれあいの家」や「ボランティアセンター」等外部団体との連携のもとに、日中活動の多様化に努めます。

## ○研修の強化と職員自己啓発への支援

- 研修委員会の機能を強化し、職員の階層別（新人、中堅、幹部）、テーマ別（専門知識、一般教養）等、きめ細かな研修体系を築き、計画的に取り組みます。
- 専門的な技術を必要とする印刷やクリーニング部門の職員育成に努めるとともに、積極的に介護福祉士等の資格取得を奨励し、職員の日々の努力が報われる人事評価の在り方について検討していきます。

## ○通所部門の活動強化と相談機能の充実

- 地域支援センター等通所部門の活動強化の一環として、在宅障害者のニーズを把握し、「利用日の拡大」、「利用時間の延長」等により、「利用者の増」を目指します。
- 相談機能の充実を図り、関係事業所との連携を強化します。また、在宅障害者への支援施設の使命を果たすべく、障害支援認定調査やサービス等利用計画の作成、在宅相談等相談業務の充実に努めます。
- 在宅障害者に加えて、介護保険の認定を受けている者への利用を拡げるため、「共生型通所事業」の開設に向けて取り組みます。

## IV 附属資料

### 法人経営・施設運営の指針

#### 使 命

利用者の働く場を確保するとともに健康で安心のできる定住拠点を築きます

#### 基本理念

##### 自主・自立・安心・連携

利用者個々人の「自主性」「主体性」を尊重し、利用者の就労活動、社会参加活動等をとおして「自立」を促進するとともに、利用者にとって「安心」「安全」の定住拠点を地域社会との「連携」「交流」のもとに築いていきます

#### 長期目標

- ・ 生産体制を整備し、就労支援により利用者の働きがい、生きがいの向上に努めます
- ・ 日中活動の充実により、利用者満足の達成に努めます
- ・ 職員の人材育成により、サービスの質の向上に努めます
- ・ 職員が継続して勤務することができるよう介護負担の軽減や業務の効率化の環境整備に努めます
- ・ 近隣市民との連携の絆を築くとともに、ボランティアエネルギーに支えられる施設をめざします

## 職員・5つの信条

### 支援の個別化

利用者一人ひとりのニーズを把握し、それぞれの好みやライフスタイルに合わせた画一的ではないサービスの提供に努めます

### 安心の提供

就労・介護・医療・看護・食事提供等各部門の連携を密にし、事故や感染症を未然に防ぐため、リスクマネジメントを徹底することとします

### 人権の擁護

すべての利用者が差別とストレスのない生活が送れるよう利用者の「知る」・「選ぶ」・「決める」権利の保障に努めます

### 自己研鑽

進化する専門技術や知識を習得するため、研修への積極的な参加や自己研鑽に努力します

### 地域社会との連携

職員自らが積極的に地域との結びつきを強め、地域の声に耳を傾けるよう努力します

# MEMO